I-O DATA

WN-B11/CMB 取扱説明書

142853-02

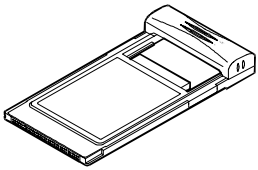
箱の中には

ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意！

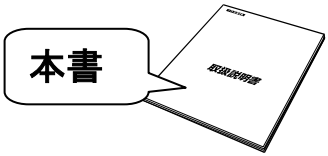
・箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

☐ 本製品（1枚）



☐ ハードウェア保証書（1枚）

☑ 取扱説明書（1冊）



☐ サポートソフトディスク（1枚）
［CD-ROM］

☐ 「2.4GHz帯使用の無線機器について」シール（1枚）

ユーザー登録とサポートソフトウェアのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトウェアをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒　http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトウェアのダウンロード　⇒　http://www.iodata.jp/lib/

もくじ

もくじ ····· 1
必ずお守りください ····· 3
使用上の注意 ····· 6

使う前に ····· 9
各部のなまえとはたらき ····· 10
無線LANで使用するモード ····· 11
本製品を取り付けられるCFカード ····· 12
本製品を取り付けるパソコン ····· 13

1 インストールと取り付け ····· 15
使い方例と設定手順 ····· 16
①ユーティリティのインストール ····· 18
②エアーセレクターのインストール *(Windows 2000/Me/98のみ)* ····· 22
③パソコンに取り付ける ····· 25
ここまでの確認 ····· 48
Windows XP/2000での確認 ····· 48
Windows Me/98での確認 ····· 51

2 無線LANからのインターネット ····· 55
無線LANアダプタ設定①
無線LANアクセスポイントと通信する ····· 56
①無線LANアクセスポイントの設定を確認する ····· 57
②無線LANアクセスポイントと通信するための設定 ····· 59
無線LANアダプタ設定②
無線LANからインターネットや有線LANに接続する ····· 69
インターネットや有線LANへの接続 ····· 70

3 CFモデムカードからのインターネット ····· 75
CFモデムカードからのインターネット接続手順 ····· 76

その他の設定や使い方……79

その他の設定① **CFモデムカードを取り替える場合**……80
その他の設定② **無線LANとモデムの切り替え**……82
その他の設定③ **無線LAN通信を暗号化する設定**……84
その他の設定④ **無線LANアダプタのみで通信する**……92

ふろく……105

Windows使用中に取り出す……106
無線LANのみ使用する場合のインストール……108
アンインストール（インストールしたソフトの削除）……110
無線LANユーティリティの詳細（Windows 2000/Me/98）……121
用語解説……125

困ったときには……129

仕様……148
アフターサービス……149

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
ご使用のパソコンや周辺機器の電源を切って、本製品を取り出してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
指定されたスロットにきちんと差し込んでください。正しく装着されていないと、火災および故障の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り出し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、正しい手順で行ってください。
感電および故障の原因となります。

水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
お風呂場、雨天・降雪中（屋外）、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り出してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

禁止

本製品を病院や飛行機内で使用しないでください。
医療機器の誤動作の原因になることがあります。
また、飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピュータのカードスロットから本製品を取り出してください。

厳守

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

⚠ 注意

注意

本製品を使用する際に、取扱説明書などでの操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保証は一切いたしかねます。

取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。

また、故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

禁止

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）
  場所（保管は問題ありません）

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

本製品のコネクタ部分には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り出しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

禁止

本製品でデータ通信中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

使用上の注意

本製品で使用する電波について

本製品は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。
本製品を使用する上で、無線局の免許は必要ありませんが、以下および次ページの注意をご確認ください。

・以下の近くでは使用しないでください。

・電子レンジ／ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器など
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
・特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

上記の機器などは、無線LANと同じ電波の周波数帯を使用しています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり速度が遅くなったりする場合があります。

・携帯電話/PHS/テレビ/ラジオを本製品の近くでは、できるだけ使用しないでください。

携帯電話/PHS/テレビ/ラジオなどは、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信やこれらの機器の通信に影響はありません。
ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。

・間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。

本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラスなどは通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されていると通信できません。

2.4GHz帯使用の無線機器について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器等のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

・その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きた場合は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：サポートセンター　電話：　金沢　076-260-3644
東京　03-3254-1144

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。

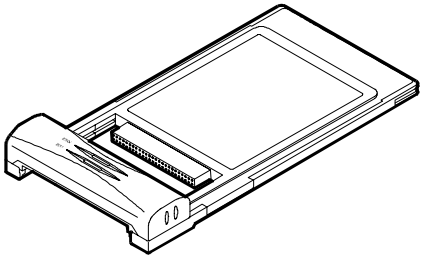
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用下さい。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせ下さい。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ･オー･データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使う前に



本製品が無線LAN通信できる機器

IEEE802.11b準拠の無線LAN製品と通信できます。

弊社製品例：WN-B11シリーズ、WN-G54シリーズ、WN-AGシリーズ、WN-ABシリーズ

※有線LAN（LANケーブルで接続されたネットワーク）と接続するには、アクセスポイント（弊社製WN-B11/AXPHなど）が必要です。

注意！

●WN-G54 シリーズ、WN-AG シリーズ、WN-AB シリーズと通信する場合、リンク速度は 11Mbps となります。（54Mbps でのリンクはできません。）

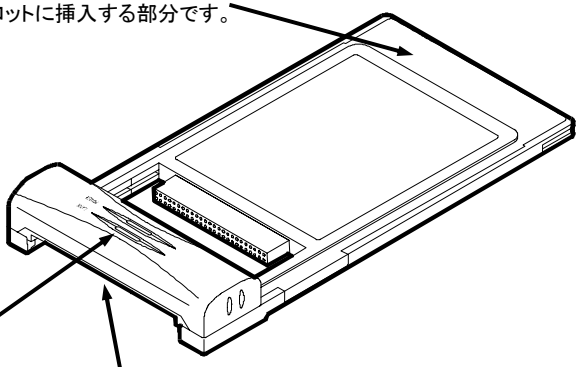
●本製品は、以下とは通信できません。

- **弊社製 無線 LAN WN-A54 シリーズ**
- **弊社製 無線 LAN PC カード PCWN-W10**
- **弊社製 コードレスネットワークシンフォニーシリーズ（WN-S/560,、WN-S/PCI,PCWN-S）**
- **弊社製 無線スイッチングハブ WNA-FSWH4**

各部のなまえとはたらき

PCカードスロット挿入部

パソコンのCardBus対応PCカードスロットに挿入する部分です。



CFカード挿入部

対応しているCFカードを挿入する部分です。
（対応CFカードについては12ページ参照）

ランプ

ランプ	モード	状態
LINK	インフラストラクチャ [Infrastructure]	緑色点灯 ： アクセスポイントと通信が行われている状態 緑色点滅 ： ネットワーク上にアクセスポイントが見つからない状態、または機能が停止している状態
	アドホック [Ad hoc]	緑色点灯 ： 通信できる他の無線LAN製品を探している状態、または、他の無線LAN製品と通信できる状態 緑色点滅 ： 機能が 停止している状態
POWER	ー	点灯 ： 電源入力時 消灯 ： 本製品が使用できない状態

参考

●本製品が動作中は、通信が確立していない場合でも、アクセスポイントの検出などで、通信パケットは送受信されています。
●インフラストラクチャ(Infrastructure)モード
無線LANアクセスポイント（無線LANブロードバンドルータ）と通信するモードです。
●アドホック(Ad hoc)モード
無線LANアダプタ同士で通信するモードです。

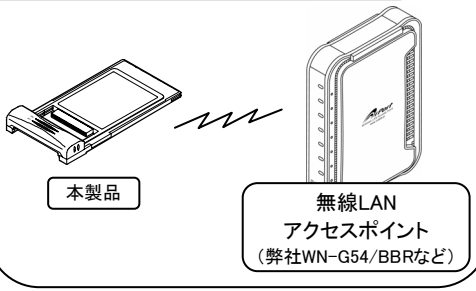
無線LANで使用するモード

本製品を含む無線LANアダプタ製品は通常以下の2つのいずれかのモードで使用できます。

注意！

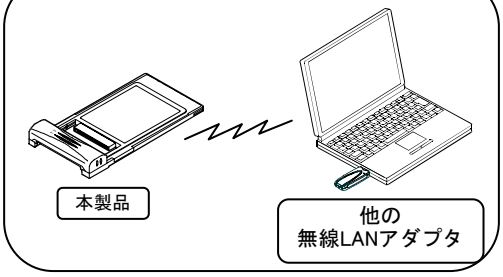
いずれか一方のモードのみ使用できます。
（同時に2つのモードを使用することはできません。）

インフラストラクチャ　モード



無線LANアクセスポイントなどを経由してインターネットや有線LANに接続する場合に使用するモードです。
無線LANアクセスポイントと無線LANで通信する場合、このモードにする必要があります。

アドホック　モード



他の無線LANを搭載したパソコンと直接無線LAN通信する場合に使用するモードです。
※無線LANパソコンのみで通信する場合は、別途アクセスポイントを用意する必要はありません。

本製品に取り付けられるCFカード

本製品に取り付けることができるCFカードは以下のCFモデムカードです。

●対応CFモデムカード

AH-H403C、AH-H401C、AH-N401C、AH-S405C
CFE-01、CFE-02、RH2000
P-in Comp@ct、P-in M@ster、P-in Memory（モデム機能のみ）、
P-in Free1P、P-in Free1S
KW-H128CF、KW-H128C2

注意！

・対応 CF モデムカード以外は使用できません。

デジタルカメラなどで使う CF メモリカードなどはご利用いただけません。

・インターネット接続契約は LAN とモデムとは別です

無線 LAN 経由と CF モデムカード経由の両方でインターネットに接続する場合は、それぞれ別々のインターネット接続契約が必要です。

・対応 OS は本製品と CF モデムカードの両方が対応している OS です

本製品が対応している OS と CF モデムカードが対応している OS は異なる場合があります。

基本的に本製品と CF モデムカードの両方が対応している OS でのみ、その OS で使用できます。

CF モデムカードの対応 OS につきましては、CF モデムカードの取扱説明書を参照してください。

・複数の CF モデムカードを取り替える場合は最初から設定が必要です。

複数の CF モデムカードをお使いになりたい場合は、CF モデムカードを取り替えるだけでは使用できません。

その CF カード毎にユーティリティのインストールが必要です。（詳細は【CF モデムカードを取り替える場合】80 ページ参照）

・スタンバイ、サスペンドからの復帰時、正常に動作しない場合は

使用する環境によっては、スタンバイ、サスペンドからの復帰時、正常に動作しない場合があります。その場合は、本モードは使用しないでください。

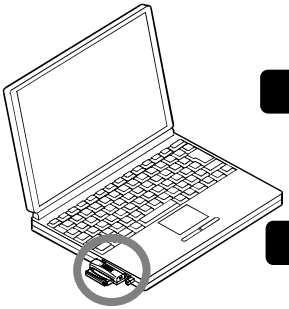
・CF モデムカードのみを取り外すことはできません

本誌品に CF モデムカード挿入している状態でご使用の際、CF モデムカードのみを取り外すことはできません。（再度接続しても認識されません。）

取り外すときは、本製品を取り外した後で、行ってください。

本製品を取り付けるパソコン

本製品は以下のパソコンのPCカードスロットに取り付けて使用します。

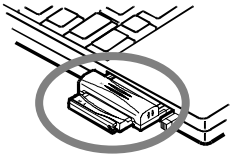


機種	CardBus規格に準拠したPCカードスロット（PCMCIA TypeⅡ）をもつ以下の機種※1※2 ・NEC PC98-NXシリーズ ・DOS/Vマシン 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしております。）
OS	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98 （Second Edition含む）

※1 CD-ROMドライブが無い場合は、146ページをご覧ください。
※2 PCカード接続のCD-ROMドライブを使用している場合は、146ページをご覧ください。

PCカードスロット

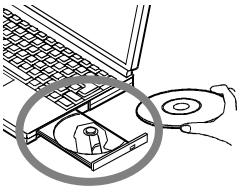
CFモデムカードを取り付けてから、PCカードスロットに挿入して使用します。



注意！
本製品のインストール作業が終了するまでは、まだ取り付けないでください。

CD-ROMドライブ

サポートソフトCD-ROMをインストールするために使用します。
（サポートソフトCD-ROMには、本製品を使用する上で必要なドライバソフトとユーティリティソフトが入っています。）



インストールと取り付けへ 15ページ

MEMO

1 インストールと取り付け

使い方例と設定手順…… 16
①ユーティリティのインストール…… 18
②エアーセレクターのインストール *(Windows 2000/Me/98のみ)* 22
③パソコンに取り付ける…… 25
ここまでの確認…… 48
Windows XP/2000での確認……48
Windows Me/98での確認……51

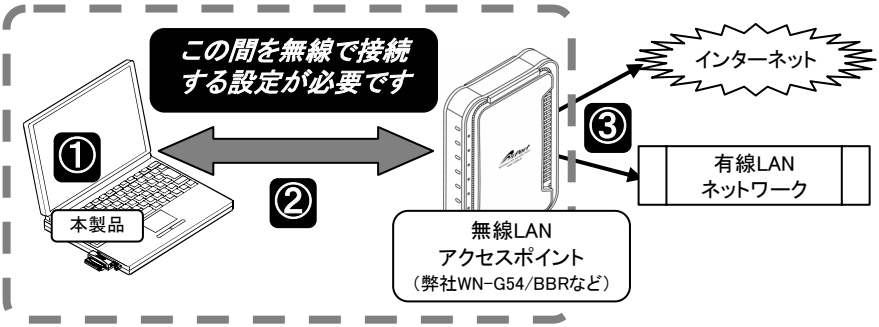
使い方例と設定手順

本製品でインターネットや他の無線LANアダプタと通信するには、サポートソフトのインストールや無線LANの設定が必要です。
ただし、使用目的に応じて設定手順が異なります。

・無線LANからインターネットや有線LANに接続したい場合

（無線LANアクセスポイントがある場合）

本製品を取り付けたパソコンから無線LANでインターネットをご利用になりたい場合、あるいは有線LANのパソコンに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントと無線で接続する必要があります。（無線LANアクセスポイント経由でインターネットや有線LANと接続します。）



設定手順

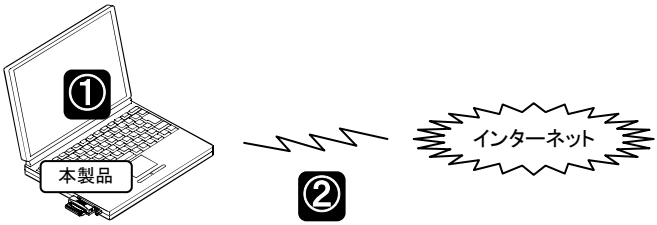
①：ユーティリティをインストールします。…… → 18ページ
②：エアーセレクターをインストールします。*（Windows 2000/Me/98のみ）* → 22ページ
③：パソコンに本製品を取り付け、追加インストール作業を行います。 → 25ページ

ユーティリティのインストールへ 18ページ

・CFモデムカード(AirH"など)を使ってインターネットに接続したい場合

（無線LANアクセスポイントがない場合）

本製品にCFモデムカード(AirH"など)を取り付ければ、無線LANアクセスポイントが無い環境でもCFモデムカード経由でインターネットをご利用になることができます。



設定手順

①:ユーティリティをインストールします。…… → 18ページ
②:エアーセレクターをインストールします。(Windows 2000/Me/98のみ) → 22ページ
③:パソコンに本製品を取り付け、追加インストール作業を行います。 → 25ページ

ユーティリティのインストールへ

次ページ

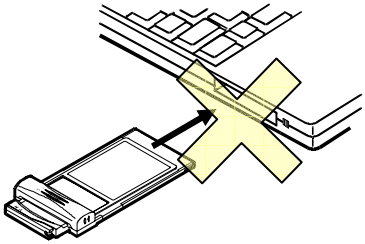
①ユーティリティのインストール

サポートソフトCD-ROMから、本製品を使用する上で必要なユーティリティソフトウェアをインストールします。

注意！

ここではまだ本製品を挿入しないでください。

下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。本製品の挿入は、下記の作業の後に行います。



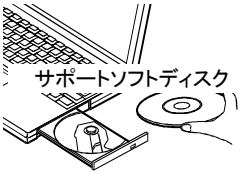
注意！

- **すでに他の弊社製 WN シリーズ設定ユーティリティやクイックコネクト、他社製無線 LAN ユーティリティをインストールしている場合は、本ユーティリティをインストールする前にアンインストールしておいてください。（併用はできません。）**
- **CF モデムカード（AirH"など）を動作させるために必要な設定ファイル（INF ファイル）のインストールは、【③パソコンに取り付ける】（25 ページ）の際に行います。CF モデムカードに添付の CD-ROM からの起動メニューや、OS 標準のドライバをインストールしても本製品では使用できませんので、ご注意ください。**

1 Windowsを起動します。

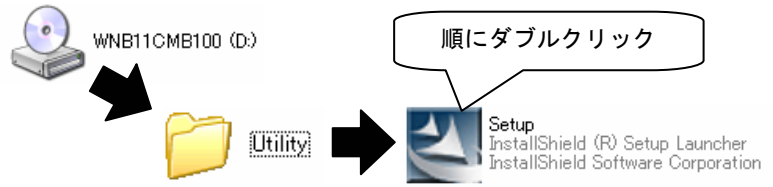
Windows XP/2000の場合は、管理者権限のあるユーザーでログオンします。

2 サポートソフトディスクをCD-ROMドライブにセットします。

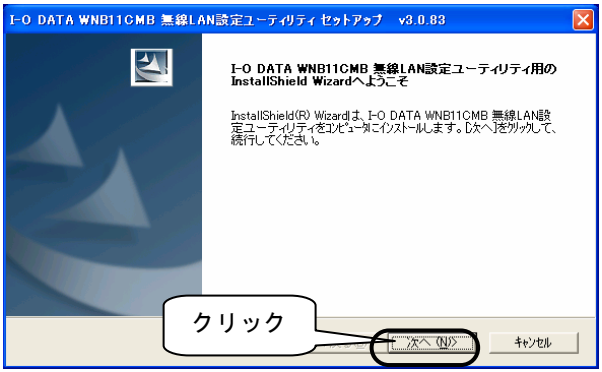


①ユーティリティのインストール（つづき）

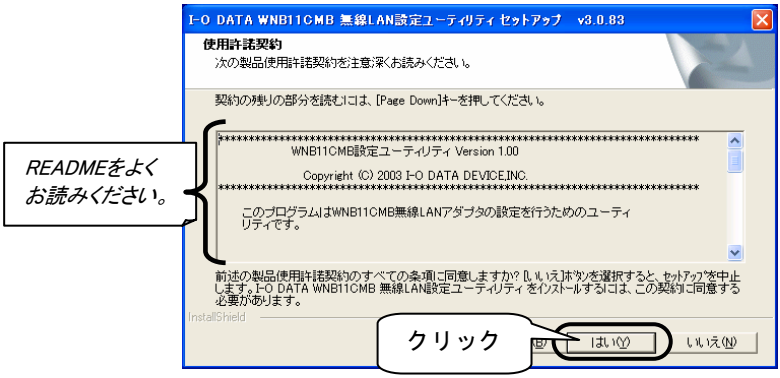
3 ［マイコンピュータ］を開き、［WNB11CMBxxx］*（xxxはサポートソフトのバージョン）*→［Utility］→［Setup］を順にダブルクリックします。



4 ［次へ］ボタンをクリックします。

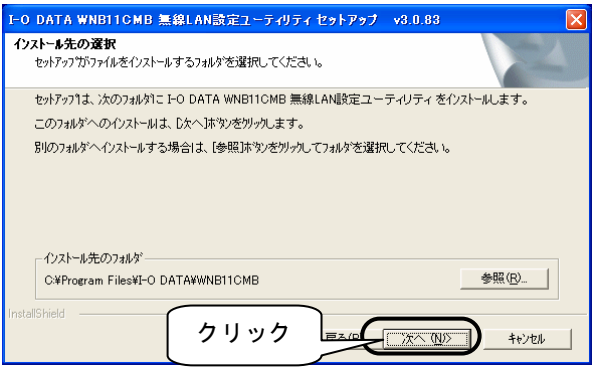


5 ［はい］ボタンをクリックします。

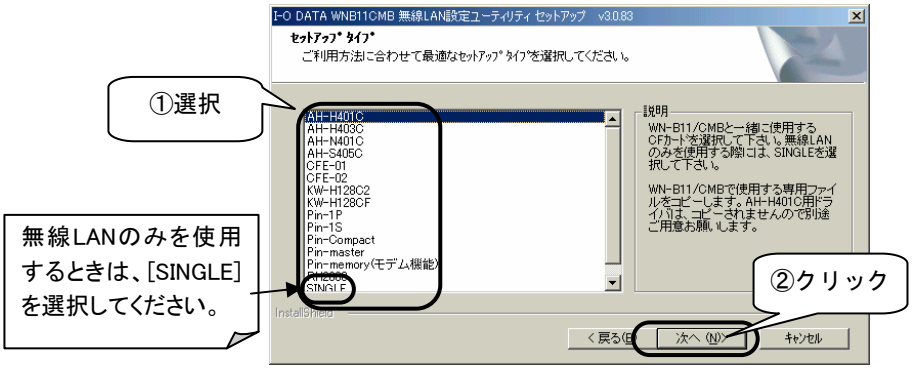


①ユーティリティのインストール（つづき）

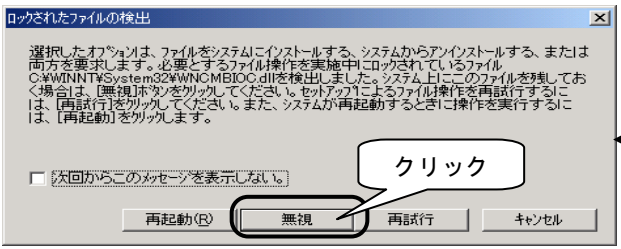
6 [次へ]ボタンをクリックします。



7 以下の画面では、お使いになる（本製品に取り付ける）CFモデムカードを選択後、[次へ]ボタンをクリックします。



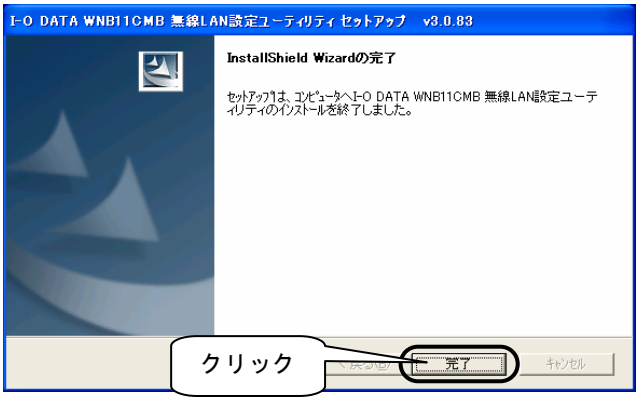
以下の画面が表示された場合は



左の画面が表示された場合は[無視]ボタンをクリックしてください。

①ユーティリティのインストール（つづき）

8 [完了]ボタンをクリックします。



9 Windows XPの場合のみ、「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

この後、Windows 2000/Me/98の場合のみ「エアーセレクター」をインストールします。

Windows XPの場合
パソコンへの取り付けへ → 25ページへ

Windows 2000/Me/98の場合
エアーセレクターのインストールへ → 次ページ

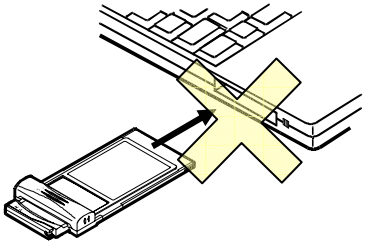
②エアーセレクターのインストール
（Windows 2000/Me/98のみ）

Windows 2000/Me/98の場合のみ、サポートソフトCD-ROMから、無線LANとモデムを切り替えるユーティリティ「エアーセレクター」をインストールします。

注意！

ここではまだ本製品を挿入しないでください。

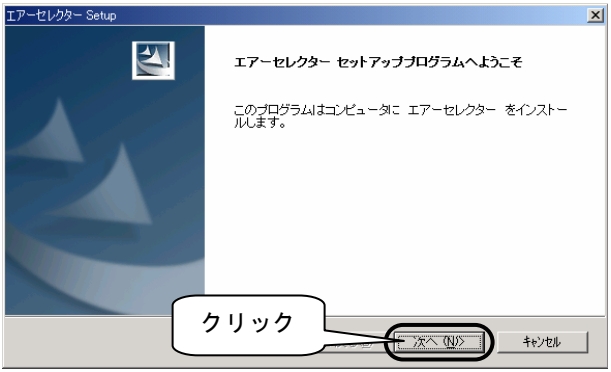
下記の作業は、本製品をパソコンに挿入しない状態で行います。
本製品の挿入は、下記の作業の後に行います。



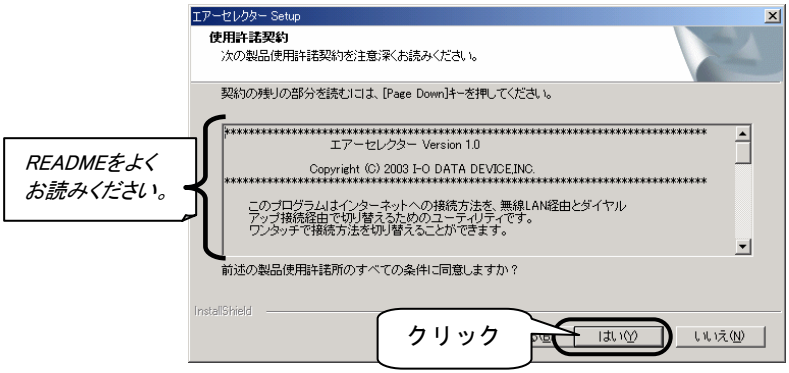
1 **「サポートソフト」CD-ROMが挿入されていることを確認後、[マイコンピュータ]を開き、[WNB11CMBxxx]** *(xxxはサポートソフトのバージョン)* **→[AirSelector]→[Setup]を順にダブルクリックします。**

②エアーセレクターのインストール（つづき）

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

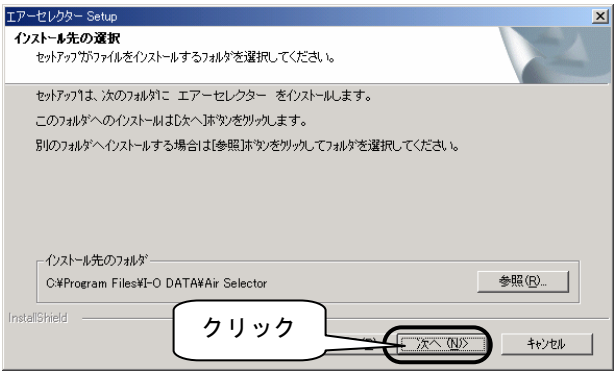


3 ［はい］ボタンをクリックします。

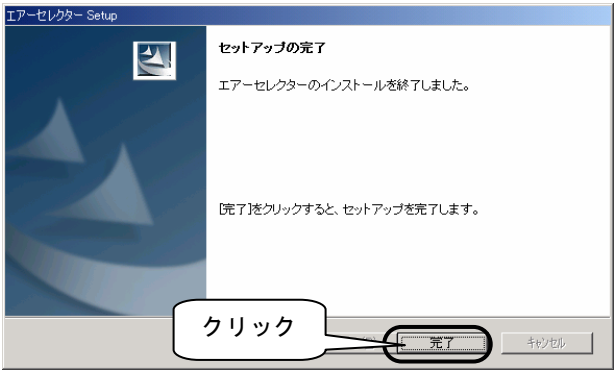


②エアーセレクターのインストール（つづき）

4 ［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［完了］ボタンをクリックします。



6 「サポートソフト」CD-ROMを取り出します。

以上でエアーセレクターのインストールは終了です。

パソコンへの取り付けへ　次ページ

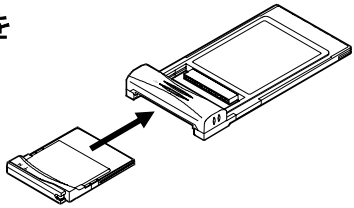
③パソコンに取り付ける

本製品をパソコンに取り付け後、CFモデムカードに添付のCD-ROMからCFモデム情報の追加インストールを行います。

※無線LANのみ使用する場合は、【無線LANのみ使用する場合のインストール】を参照してください。

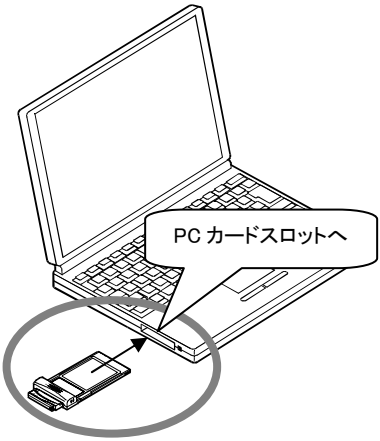
1 CFモデムカード（AirH"など）を本製品に挿入します。

CF モデムカードをお使いになる場合は、必ず挿入してから以下へお進みください。



2 パソコンのPCカードスロットの奥まで挿入します。

PC カードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。



注意！

・このとき挿入した PC カードスロット以外の PC カードスロットには挿さないでください。
本製品を他の PC カードスロットで使用する場合は、再度次ページからの作業が必要です。
・次ページ以降で、CF モデムカードに添付の CD-ROM が必要になります。
ご用意ください。

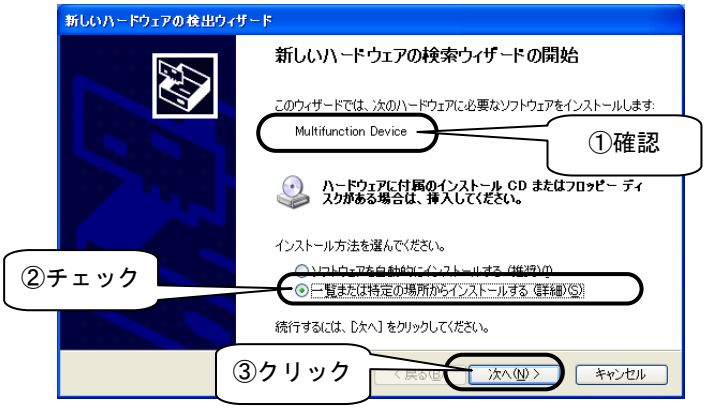
この後、下記の該当ページへお進みください。

・Windows XPの場合…【Windows XPの追加作業】（次ページ）
・Windows 2000の場合…【Windows 2000の追加作業】（34ページ）
・Windows Me/98の場合…【Windows Me/98の追加作業】（40ページ）

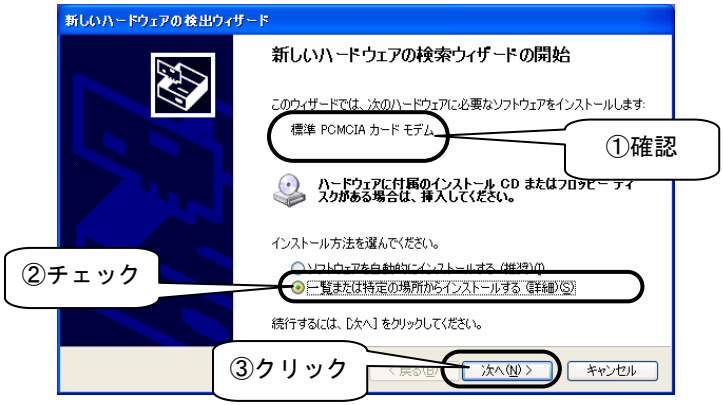
Windows XPの追加作業

1 本製品挿入後、以下の画面が表示されます。
[Multifunction Device]または[標準 PCMCIA カードモデム]と表示されていることを確認し、[一覧または特定の場所からインストールする]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

●[Multifunction Device]と表示された場合



●[標準 PCMCIA カードモデム]と表示された場合



Windows XPの追加作業（つづき）

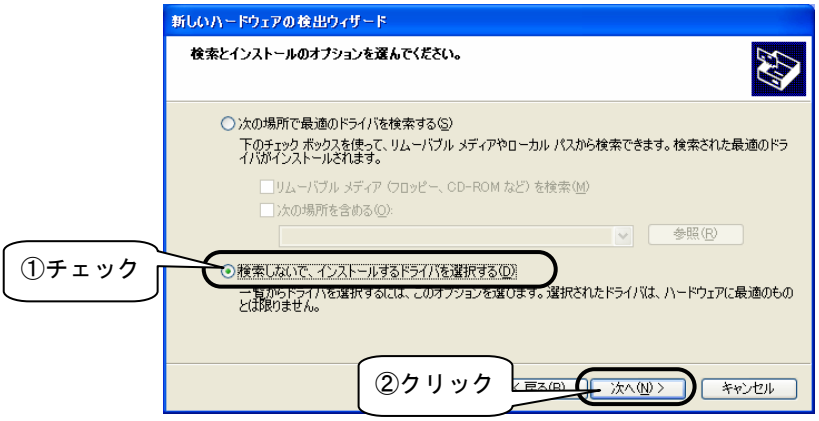
・前ページの画面が表示されない場合は…
・[Multifunction Device] または[標準 PCMCIA カードモデム]と表示されていない場合は

対処１：本製品が PC カードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。
対処２：CF モデムカードが本製品に正しく挿入されているか確認してください。
対処３：別の PC カードスロットがある場合はそちらでおためしください。

2 CFモデムカード（AirH"など）に添付のドライバソフトが入っているディスクをCD-ROMドライブまたはフロッピーディスクドライブにセットします。

※自動的にインストールメニューが起動したときは、終了してください。

3 ［検索しないで、インストールする］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。

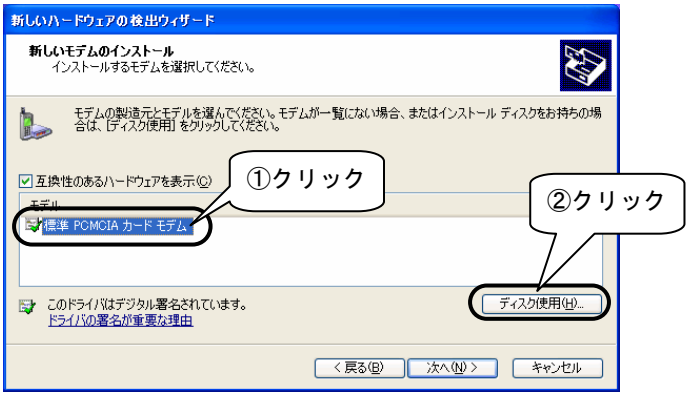


Windows XPの追加作業（つづき）

4　表示された画面を確認します。

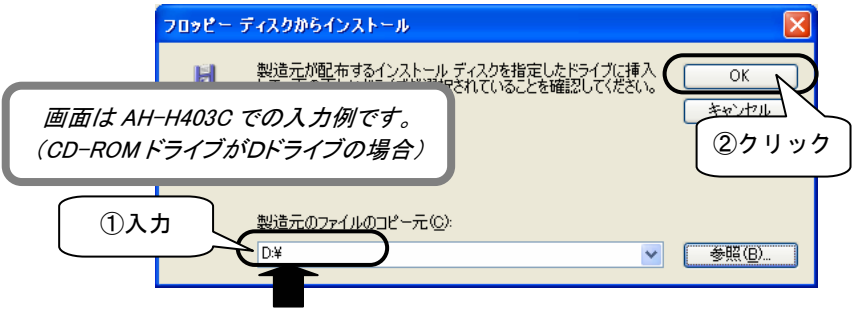
●以下の画面が表示された場合［共通ハードウェアの種類］から［モデム］をクリック後、［次へ］ボタンをクリックし、[ディスク使用]ボタンをクリックます。

●以下の画面が表示された場合は、[標準 PCMCIA カードモデム]をクリックして、[ディスク使用]ボタンをクリックします。



Windows XPの追加作業（つづき）

5 ［製造元のファイルのコピー元］欄にCD-ROM内のCFモデムカードの設定ファイル（INFファイル）のある場所を入力します。入力後、［次へ］ボタンをクリックします。



ここには以下を入力します。

※以下はCD-ROMドライブがDドライブ、フロッピーディスクがAドライブの例です。

CFモデムカード	入力する文字	CFモデムカード	入力する文字
AH-H403C	D:¥	P-in comp@ct	A:¥
AH-H401C		P-in m@ster	
AH-N401C		P-in memory（モデム機能）	
AH-S405C		P-in 1S	D:¥
CFE-02		P-in 1P	D:¥Driver
CFE-01		KW-H128CF	D:¥
RH2000	D:¥inf¥RH2000P	KW-H128C2	D:¥

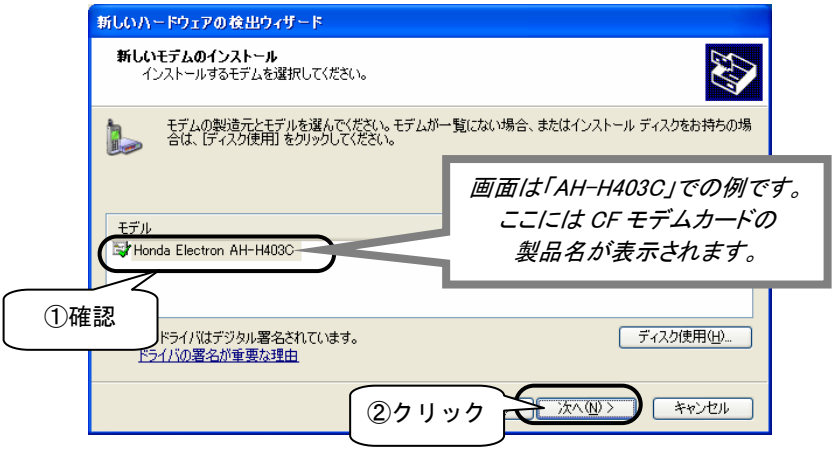
注意！

上記は、2003 年 11 月時点での INF ファイルの指定場所です。

各 CF モデムカード（AirH"など）の設定ファイル（INF ファイル）は、各 CF モデムカードメーカーの都合により CD-ROM（フロッピーディスク）の収録場所が変更される場合があります。詳細については、各 CF モデムカードメーカーにご確認ください。

Windows XPの追加作業（つづき）

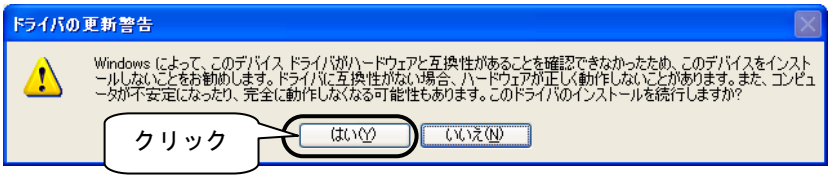
6 ［モデル］欄にCFモデムカードの製品名が表示されていることを確認後、［次へ］ボタンをクリックします。



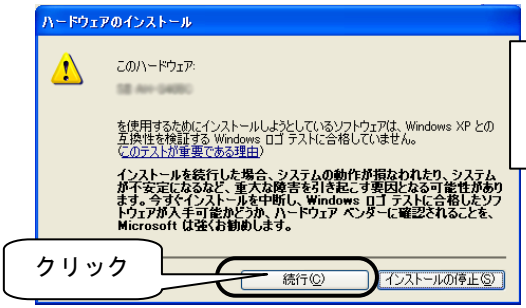
この画面が表示されない場合は…

対処：CD-ROM ドライブにセットした CD-ROM が CF モデムカード用の CD-ROM であるか再度ご確認ください。

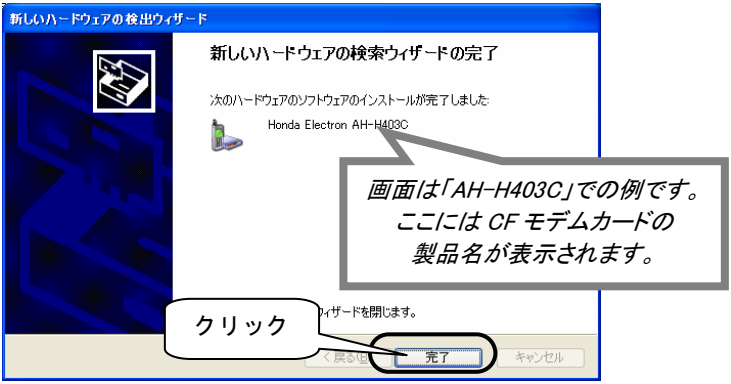
7 以下の画面が表示されますが、［はい］ボタンをクリックします。



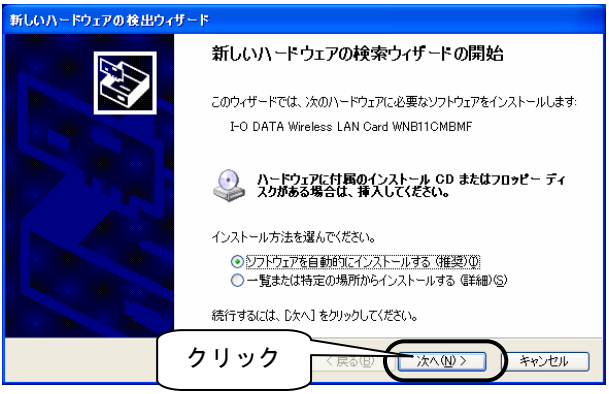
Windows XPの追加作業（つづき）



8 ［完了］ボタンをクリックし、CD-ROMを取りだします。

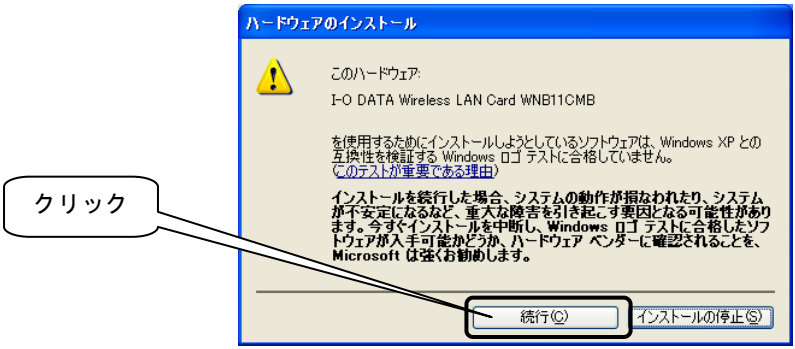


9 再度、以下の画面が表示されます。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックします。



Windows XPの追加作業（つづき）

10 [続行]ボタンをクリックします。



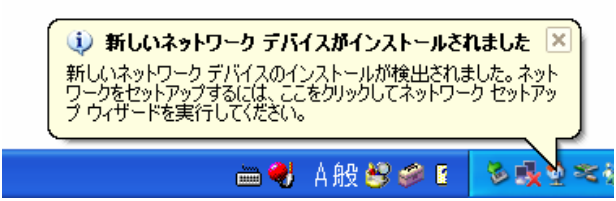
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

11 [完了]ボタンをクリックします。

Windows XPの追加作業（つづき）

以上でインストールは終了です。
正常にインストールが終了すると、下記画面が表示されます。
ネットワークセットアップウィザードが起動した場合は、キャンセルしてください。

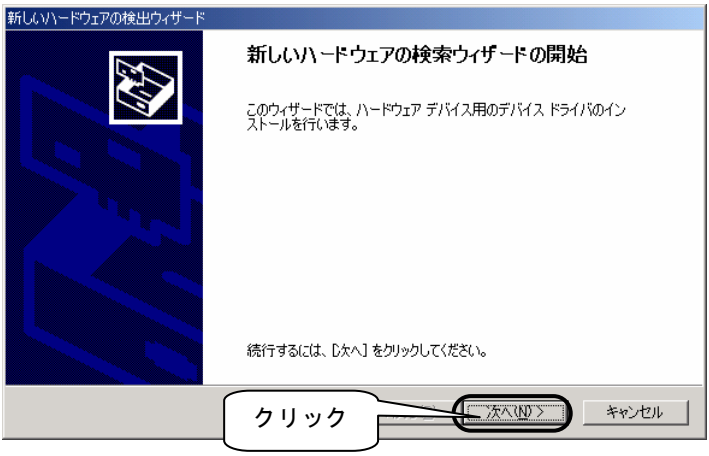


ここまでの設定を確認しましょう

48ページへ

Windows 2000の追加作業

1 本製品挿入後、以下の画面が表示されます。
[次へ]ボタンをクリックします。



・この画面が表示されない場合は…

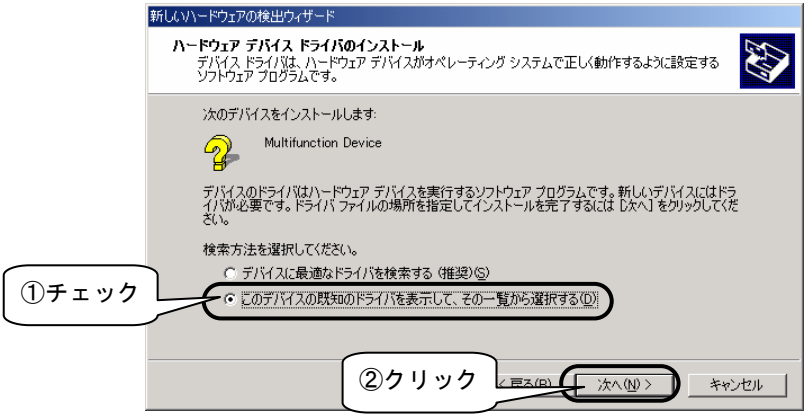
対処１：本製品が PC カードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。
対処２：CF モデムカードが本製品に正しく挿入されているか確認してください。
対処３：別の PC カードスロットがある場合はそちらでおためしください。

2 CFモデムカード（AirH"など）に添付のドライバソフトが入っているディスクをCD-ROMドライブまたはフロッピーディスクドライブにセットします。

※自動的にインストールメニューが起動したときは、終了してください。

Windows 2000の追加作業（つづき）

3 ［このデバイスの既知のドライバを表示して…］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。

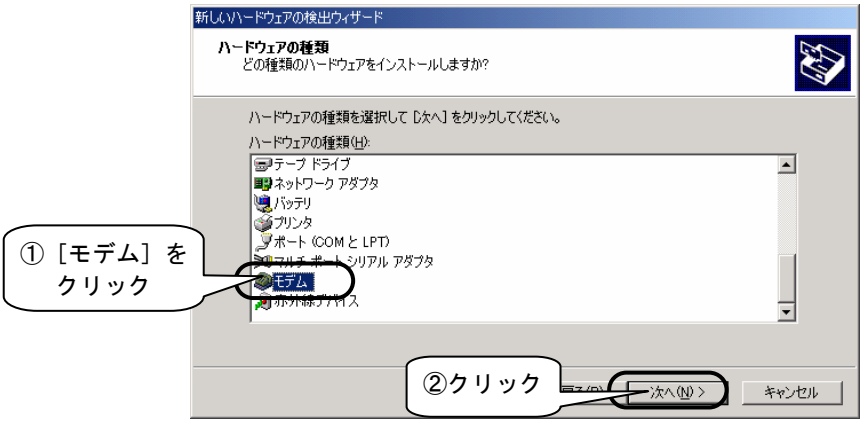


・［Multifunction Device］と表示されていない場合は

対処１：CF モデムカードが本製品に正しく挿入されているか確認してください。

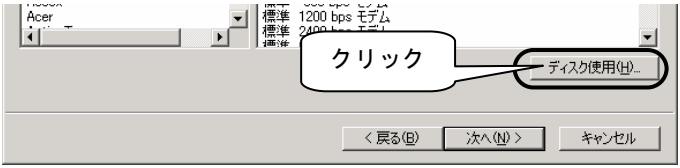
対処２：別の PC カードスロットがある場合はそちらでおためしください。

4 ［ハードウェアの種類］から［モデム］ををクリック後、［次へ］ボタンをクリックします。

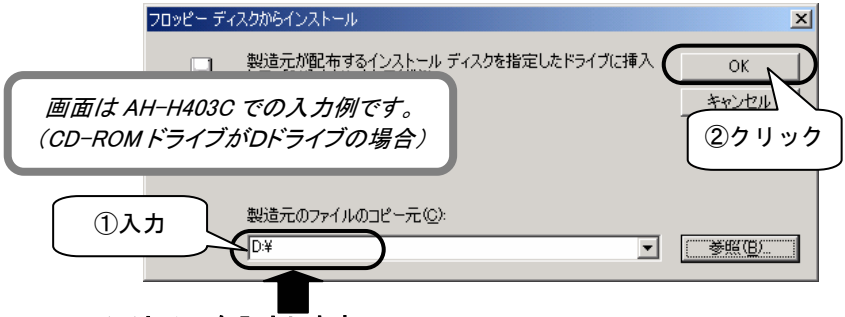


Windows 2000の追加作業（つづき）

5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 ［製造元のファイルのコピー元］欄にCD-ROM内のCFモデムカードの設定ファイル（INFファイル）のある場所を入力します。入力後、［次へ］ボタンをクリックします。



ここには以下を入力します。

※以下はCD-ROMドライブがDドライブ、フロッピーディスクがAドライブの例です。

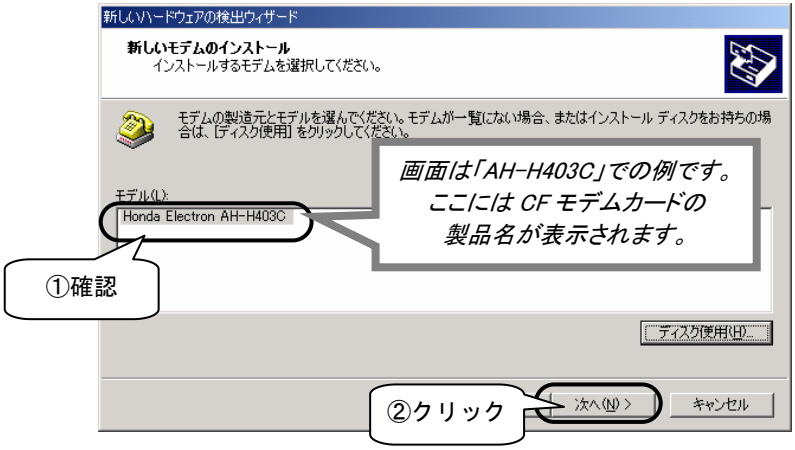
CFモデムカード	入力する文字	CFモデムカード	入力する文字
AH-H403C	D:¥	P-in comp@ct	A:¥
AH-H401C		P-in m@ster	
AH-N401C		P-in memory（モデム機能）	
AH-S405C		P-in 1S	D:¥
CFE-02		P-in 1P	D:¥Driver
CFE-01		KW-H128CF	D:¥
RH2000	D:¥inf¥RH2000P	KW-H128C2	D:¥

注意！

上記は、2003 年 11 月時点での INF ファイルの指定場所です。
各 CF モデムカード（AirH"など）の設定ファイル（INF ファイル）は、各 CF モデムカードメーカーの都合により CD-ROM の収録場所が変更される場合があります。詳細については、各 CF モデムカードメーカーにご確認ください。

Windows 2000の追加作業（つづき）

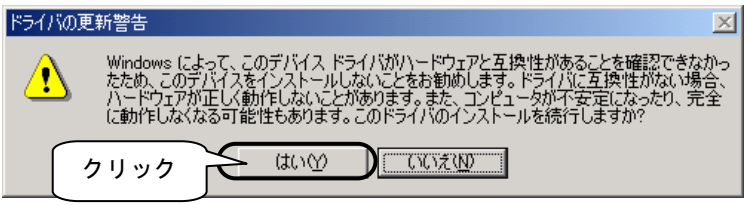
7 ［モデル］欄にCFモデムカードの製品名が表示されていることを確認後、［次へ］ボタンをクリックします。



この画面が表示されない場合は…

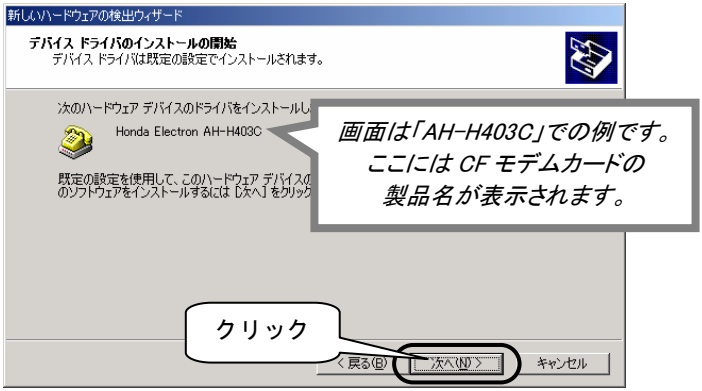
対処：CD-ROM ドライブにセットした CD-ROM が CF モデムカード用の CD-ROM であるか再度ご確認ください。

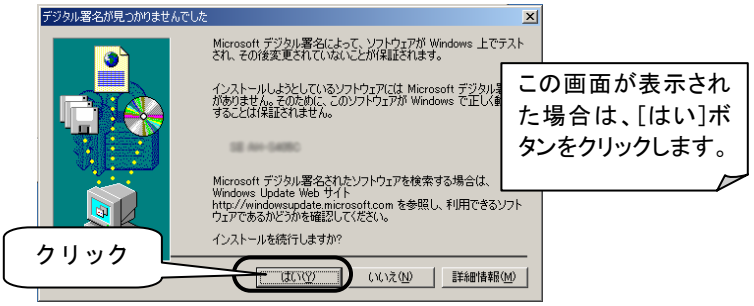
8 以下の画面が表示されますが、［はい］ボタンをクリックします。



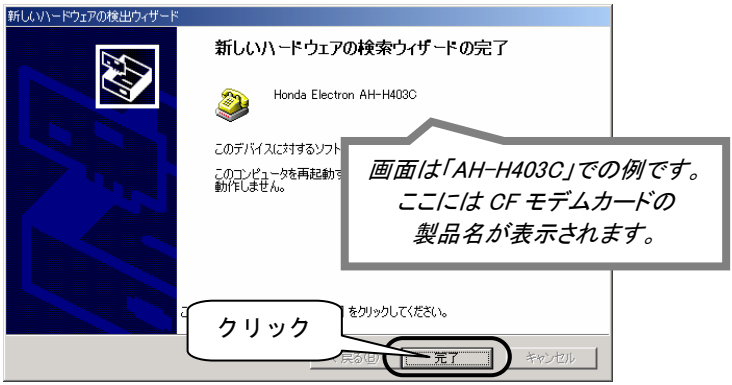
Windows 2000の追加作業（つづき）

9 CFモデムカードの製品名が表示されていることを確認後、［次へ］ボタンをクリックします。



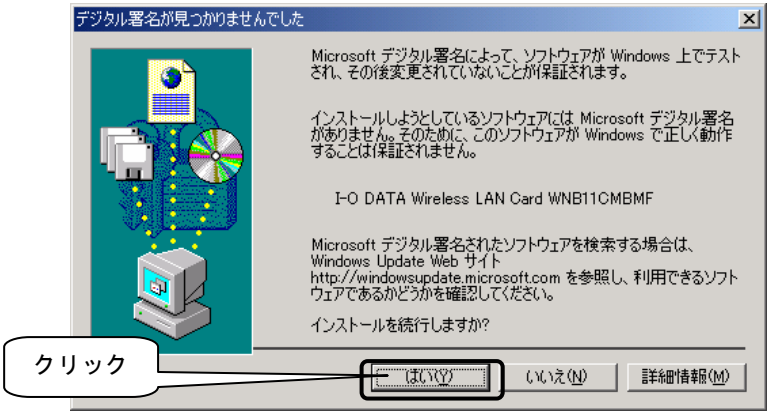


10 ［完了］ボタンをクリックします。



Windows 2000の追加作業（つづき）

// 以下の画面が表示されます。
[はい]ボタンをクリックします。



参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点で、マイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は WHQL という組織において、パソコン本体や周辺機器などを対象とした認定手続きを実施しております。

以上でインストールは終了です。

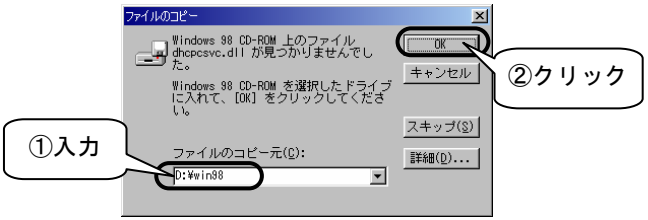
ここまでの設定を確認しましょう 48ページへ

Windows Me/98の追加作業

1 本製品挿入後、Windows 98の場合、以下の画面が表示される場合があります。
[Windows 98 CD-ROM]（または [Windows 98 Second Edition1 CD-ROM] ）をCD-ROMドライブにセット後、[OK]ボタンをクリックします。

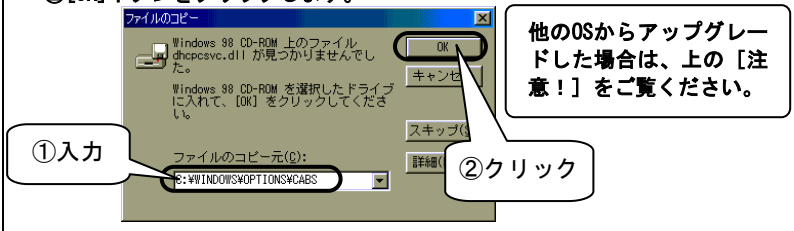
注意！

さらに、以下の画面が表示された場合は…
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
[D:¥WIN98]　（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）
②[OK]ボタンをクリックします。



注意！

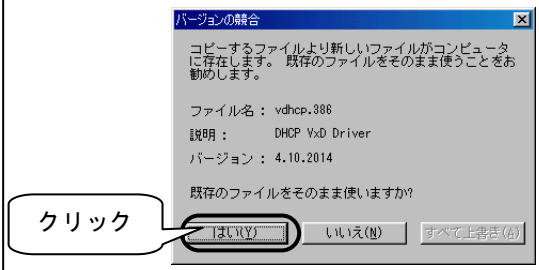
[ファイルのコピー]画面で、お使いのパソコンが Windows 98 プリインストールモデルの場合は…
→①[ファイルのコピー元]欄を以下のように指定します。
[C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS]
（Windows 98 がインストールされているドライブが C ドライブの場合の例）
②[OK]ボタンをクリックします。



Windows Me/98の追加作業（つづき）

注意！

［バージョンの競合］画面が表示された場合は
→［はい］ボタンをクリックします。
※複数の［バージョンの競合］画面が表示された場合は、すべて［はい］ボタンをクリックしてください。



2 CFモデムカード（AirH"など）に添付のドライバソフトが入っているディスクをCD-ROMドライブまたはフロッピーディスクドライブにセットします。

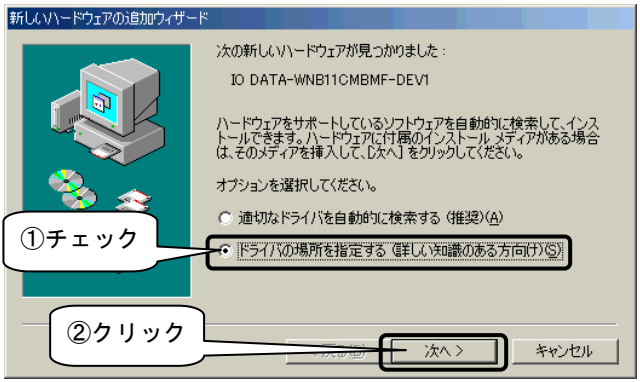
※自動的にインストールメニューが起動したときは、終了してください。

Windows Me/98の追加作業（つづき）

3 以下を行います。

Windows Meの場合

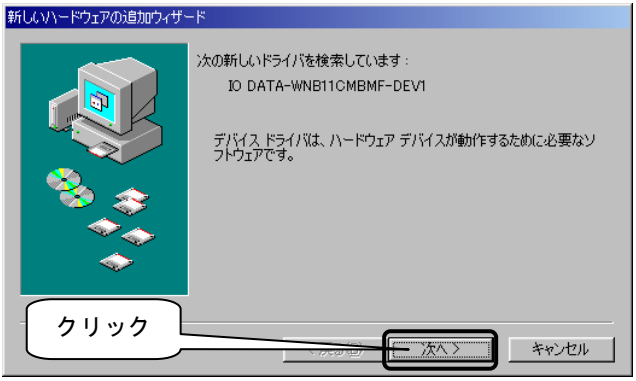
[ドライバの場所を指定する]をチェック後、[次へ]ボタンをクリックします。



Windows 98の場合

[次へ]ボタンをクリックします。

※表示内容はお使いのCFモデムカードによって異なります。



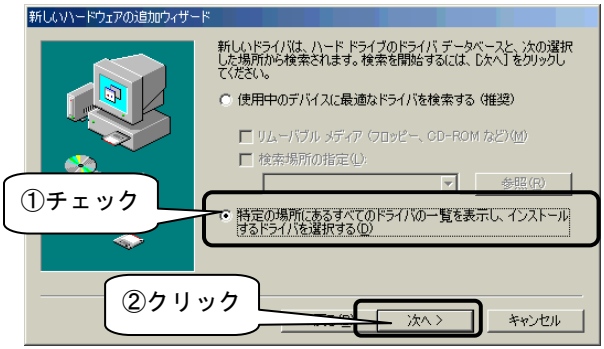
Windows Me/98の追加作業（つづき）

前ページの画面が表示されない場合は…

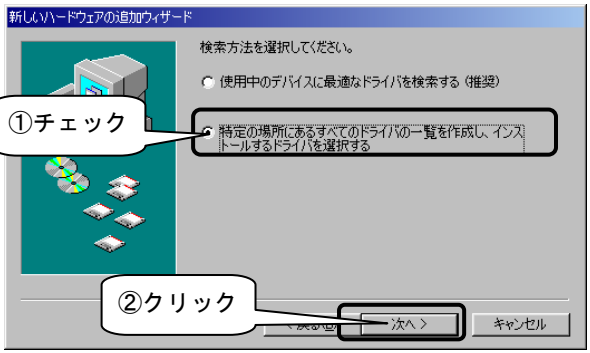
対処１：本製品が PC カードスロットの奥まで挿入されているか確認してください。
対処２：CF モデムカードが本製品に正しく挿入されているか確認してください。
対処３：別の PC カードスロットがある場合はそちらでおためしください。
対処４：パソコンの再起動をおためしください。

4 ［特定の場所にある…］をチェック後、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合



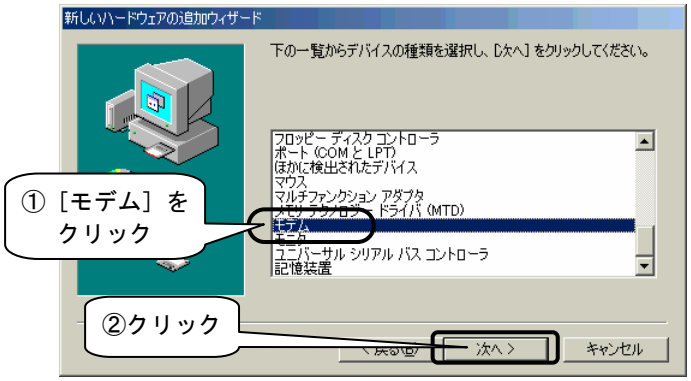
Windows 98の場合



Windows Me/98の追加作業（つづき）

5 ［モデム］をクリック後、［次へ］ボタンをクリックします。

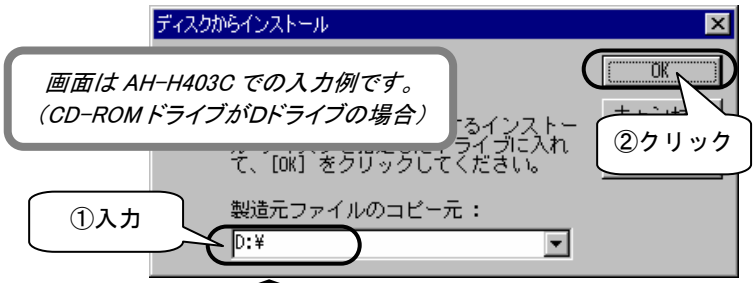
※お使いのCFモデムカードによっては以下の画面は表示されない場合があります。また、表示内容が異なる場合があります。



6 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

Windows Me/98の追加作業（つづき）

7 **［製造元ファイルのコピー元］***（あるいは［配布ファイルのファイルのコピー元］）*欄にCD-ROM内のCFモデムカードの設定ファイル（INFファイル）のある場所を入力します。
入力後、［OK］ボタンをクリックします。



ここには以下を入力します。
※以下はCD-ROMドライブがDドライブ、フロッピーディスクがAドライブでの例です。

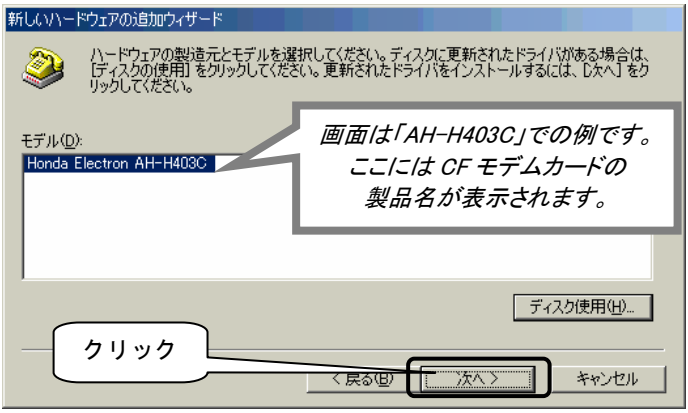
CFモデムカード	入力する文字	CFモデムカード	入力する文字
AH-H403C	D:¥	P-in comp@ct	A:¥
AH-H401C		P-in m@ster	
AH-N401C		P-in memory（モデム機能）	
AH-S405C		P-in 1S	D:¥
CFE-02		P-in 1P	D:¥Driver
CFE-01		KW-H128CF	D:¥
RH2000	D:¥inf¥RH2000P	KW-H128C2	D:¥

注意！

上記は、2003 年 11 月時点での INF ファイルの指定場所です。
各 CF モデムカード（AirH"など）の設定ファイル（INF ファイル）は、各 CF モデムカードメーカーの都合により CD-ROM の収録場所が変更される場合があります。詳細については、各 CF モデムカードメーカーにご確認ください。

Windows Me/98の追加作業（つづき）

8 **以下の画面が表示されます。**
［次へ］ボタンをクリックします。

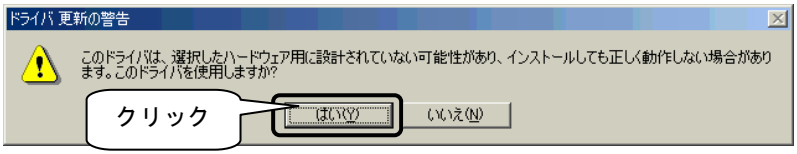


この画面が表示されない場合は…

対処：CD-ROM ドライブにセットした CD-ROM が CF モデムカード用の CD-ROM であるか再度ご確認ください。

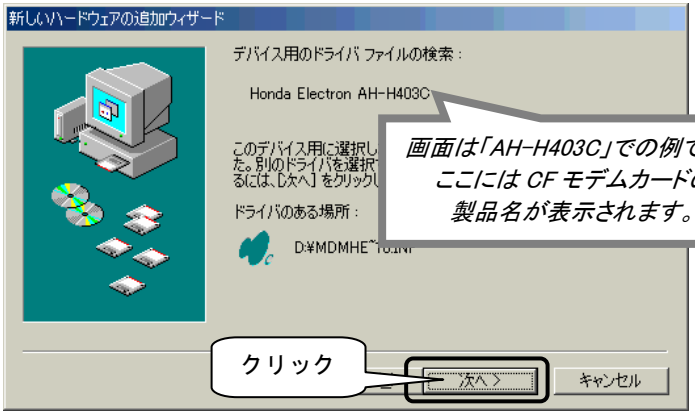
9 **以下の画面が表示されます。**
［はい］ボタンをクリックします。

※お使いのCFモデムカードによっては以下の画面は表示されない場合があります。

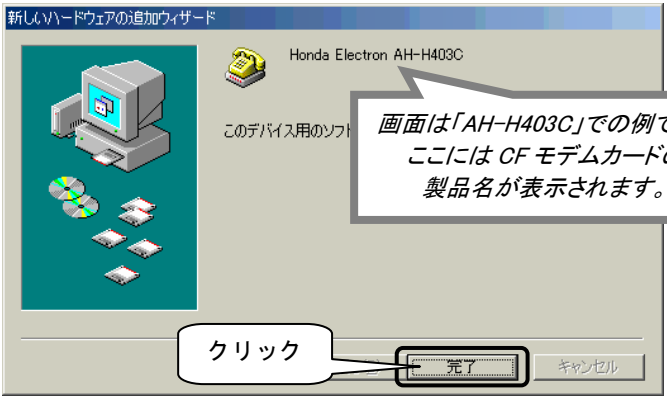


Windows Me/98の追加作業（つづき）

10 ［次へ］ボタンをクリックします。



11 ［完了］ボタンをクリックします。



以上でインストールは終了です。

ここまでの設定を確認しましょう

次ページへ

ここまでの確認
（インストール～取り付け）

ここまでの作業が正しく終了していれば、本製品がパソコンに認識されます。
正しくインストールされ、パソコンに認識されているか、以下の手順で確認してください。確認後、次のステップにお進みください。

・Windows XP/2000の場合	⇒	以下の【Windows XP/2000での確認】参照
・Windows Me/98の場合	⇒	51ページ【Windows Me/98での確認】参照

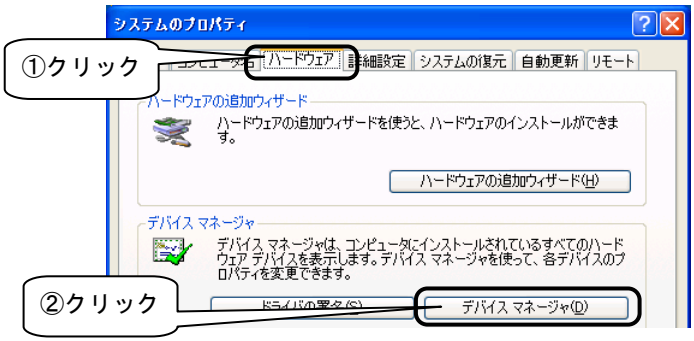
Windows XP/2000での確認

※画面はWindows XPを例にしています。

1 ［マイコンピュータ］を右クリック※して、［プロパティ］をクリックします。

※Windows XPの場合は［スタート］をクリック後、［マイコンピュータ］を右クリック

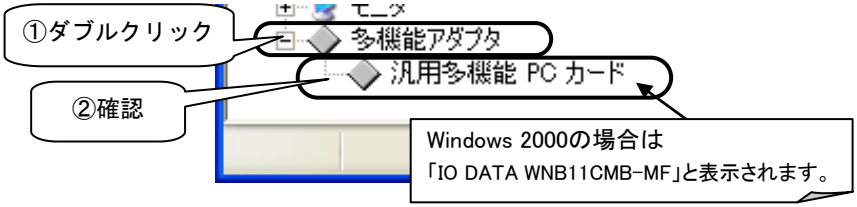
2 **［ハードウェア］タブをクリックして、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。**



Windows XP/2000での確認（つづき）

3 ［多機能アダプタ］をダブルクリックします。

・［多機能アダプタ］の下に
［汎用多機能PCカード］と表示されていることを確認します。
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［汎用多機能 PC カード］または
［IO DATA WNB11CMB-MF］
が無い場合は…

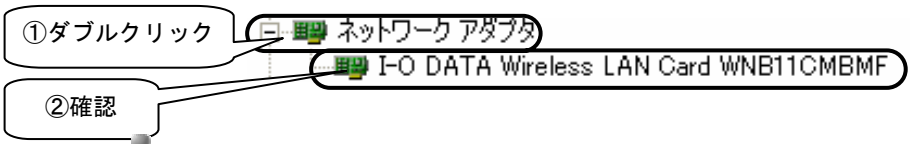
【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

【困ったときには】の
134 ページをご覧ください。

4 ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］と表示されている
ことを確認します。
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［I-O DATA ···· WNB11CMBMF］
が無い場合は…

【困ったときには】の
133 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

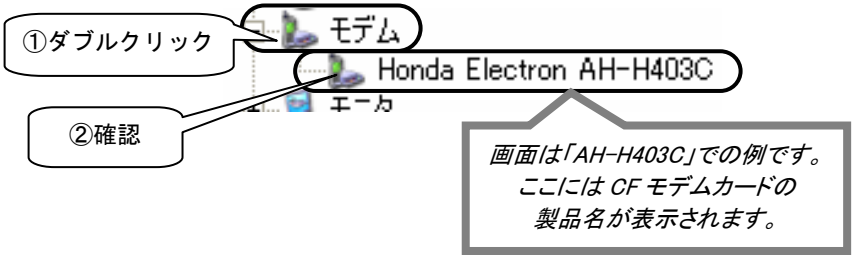
【困ったときには】の
138 ページをご覧ください。

Windows XP/2000での確認（つづき）

5 **CFモデムカードを使用している場合は、［モデム］をダブルクリックします。**

・［モデム］の下にお使いの製品名が表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



お使いのモデム
が無い場合は…

【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

【困ったときには】の
138 ページをご覧ください。

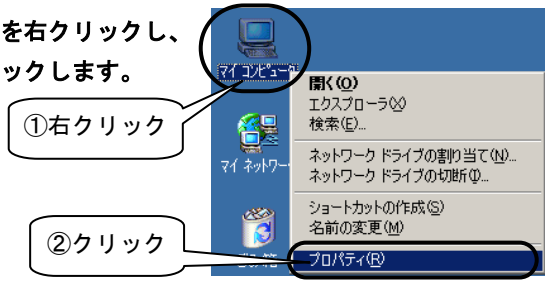
以上で確認は終了です。

無線LANからインターネット接続する場合 55ページへ

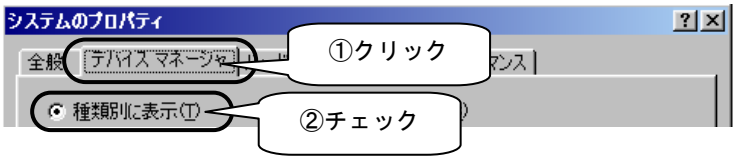
CFモデムからインターネット接続する場合 75ページへ

Windows Me/98での確認

1 ［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。



2 ［デバイスマネージャ］タブで［種類別に表示］をクリックします。



参考

PC98-NX シリーズで[デバイスマネージャ]が表示されない場合は、以下の手順で[アドバンスドモード]に設定してください。
①[スタート]→[プログラム]→[Cyber Trio-NX]（あるいは[NX ユーティリティ]、[NX の設定]）→[Cyber-Trio-NX セットアップ]を順に起動します。
②[アドバンスドモード]をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。
③Windows を再起動します。

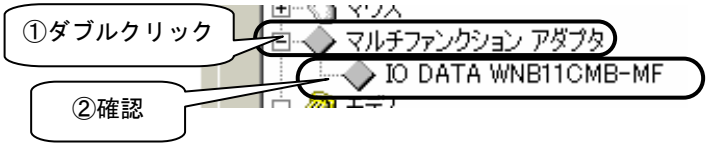
参考

Windows Me をお使いの場合
環境によってはデバイスマネージャの PCMCIA カードサービスの先頭に「！」マークがつくことがあります。

Windows Me/98での確認（つづき）

3 ［マルチファンクションアダプタ］をダブルクリックします。

・［マルチファンクションアダプタ］の下に
［IO DATA WNB11CMB-MF］と表示されていることを確認します。
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［IO DATA WNB11CMB-MF］
が無い場合は…

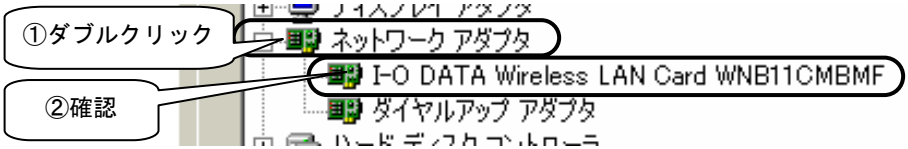
【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

【困ったときには】の
134 ページをご覧ください。

4 ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

・［ネットワークアダプタ］の下に
［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］と表示されている
ことを確認します。
・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。



［I-O DATA ···· WNB11CMBMF］
が無い場合は…

【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

【困ったときには】の
138 ページをご覧ください。

Windows Me/98での確認（つづき）

5 **CFモデムカードを使用している場合は、［モデム］をダブルクリックします。**

・［モデム］の下にお使いの製品名が表示されていることを確認します。

・その頭に！マークが表示されていないことも確認します。

お使いのモデム
が無い場合は…

【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

頭に！マークが
ある場合は…

【困ったときには】の
138 ページをご覧ください。

以上で確認は終了です。

無線LANからインターネット接続する場合 55ページへ

CFモデムからインターネット接続する場合 75ページへ

MEMO

2

無線LANからのインターネット

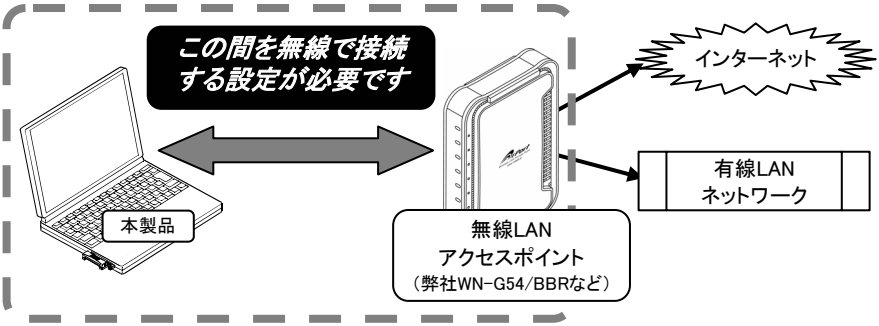
無線LANアクセスポイントと通信する ……56
①無線LANアクセスポイントの設定を確認する ……57
②無線LANアクセスポイントと通信するための設定 ……59
無線LANからインターネットや有線LANに接続する ……69
インターネットや有線LANへの接続 ……70

無線 LAN アダプタ設定①

無線LANアクセスポイントと通信する

本製品から無線LAN経由で、インターネットに接続する、あるいは有線LANに接続するには、本製品と無線LANアクセスポイントを通信できるように設定する必要があります。

※無線LANアダプタのみの通信を行う場合は92ページを参照してください。



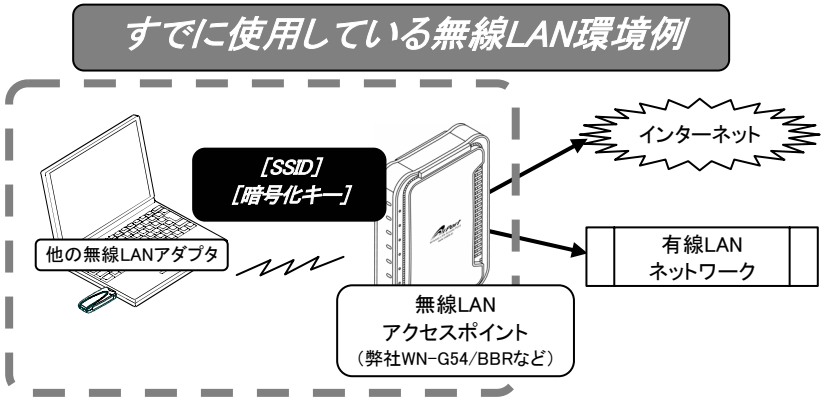
①無線LANアクセスポイントの設定を確認する

本製品と無線LANで接続する無線LANアクセスポイントの設定を確認します。

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。

この後のステップで設定します。

※これからはじめて無線LANを導入する場合は、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照して設定を以下にメモしてください。



※ここで使用しているSSIDと暗号化設定を以下にメモ

▼確認したアクセスポイントの設定を記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】 例）**弊社製無線LANアクセスポイントの場合、初期状態では以下の設定です。** **SSID:　default**
暗号化キー	【　　】 ※暗号化を設定していない場合は記入する必要はありません。

アクセスポイントとの通信設定へ　59ページ

①無線LANアクセスポイントの設定を確認する

参考

SSIDとは？

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

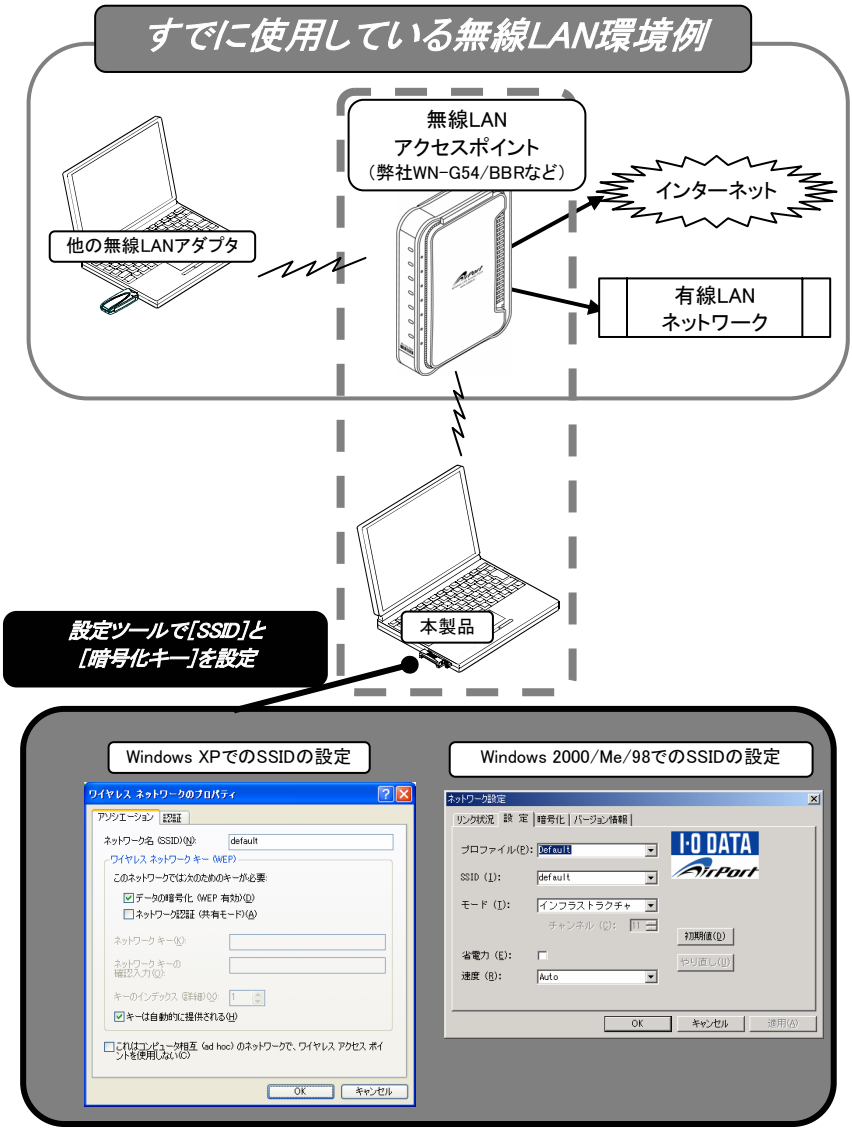
※任意の文字列を設定できます。ただし、半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。

暗号化キーとは？

無線LAN通信時に通信内容を傍受されることを防ぐために暗号化する際のキーです。詳細は84ページを参照してください。

②無線LANアクセスポイントと通信するための設定

前ページで確認した[SSID]と[暗号化キー]を設定します。
設定後、アクセスポイントと通信できるようになります。



無線LANアクセスポイントと通信する

1 無線LANアクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

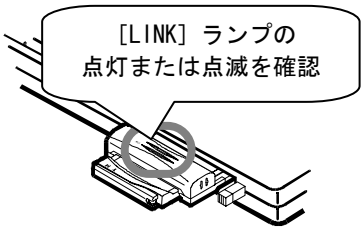
※以下の手順以降で実際に本製品とアクセスポイントの通信を行いますので電源を入れておいてください。

すでに使用しているアクセスポイントがある場合はそのまま電源を入れた状態にします。

はじめて無線LANを導入する場合は、アクセスポイントの電源を入れておいてください。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

本製品の［LINK］ランプが点灯または点滅していることを確認してください。



ランプ	状態	状態
LINK	緑色点灯	アクセスポイントと通信が行われている状態
	緑色点滅	ネットワーク上にアクセスポイントが見つからない状態、または機能が停止している状態 ※この時点ではまだ、本製品と無線LANアクセスポイントや他の無線LANアダプタとの無線LAN設定が異なっているため点滅します。 次ページ以降の無線LANの設定を終了すれば、点灯しますので、この時点で点滅していても問題ありません。

ランプが
消灯している場合は…

【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

無線LANアクセスポイントと通信する（つづき）

この後、Windows XPとWindows 2000/Me/98では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows XPの場合 次ページへ

Windows 2000/Me/98の場合 66ページへ

Windows XPでアクセスポイントと通信する

Windows XPでは、Windows XP標準の［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］で無線LANを設定後、無線LANアクセスポイントと通信できるようになります。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

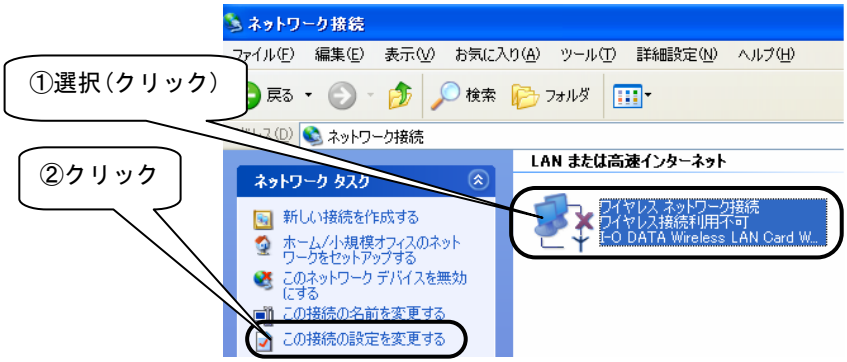
2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

参考

［クラシック表示］の場合は、［ネットワーク接続］アイコンをダブルクリックして手順4へお進みください。

3 ［ネットワーク接続］をクリックします。

4 インストール済みの［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを選択し、［この接続の設定を変更する］をクリックします。



［ワイヤレスネットワーク接続］が表示されない場合は…

【困ったときには】の140 ページをご覧ください。

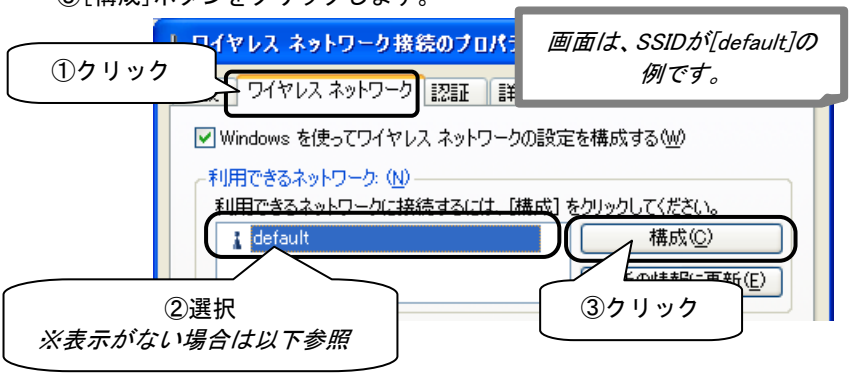
Windows XPでアクセスポイントと通信する（つづき）

5 通信するネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

②[利用できるネットワーク]で57ページで確認したSSIDを選択します。

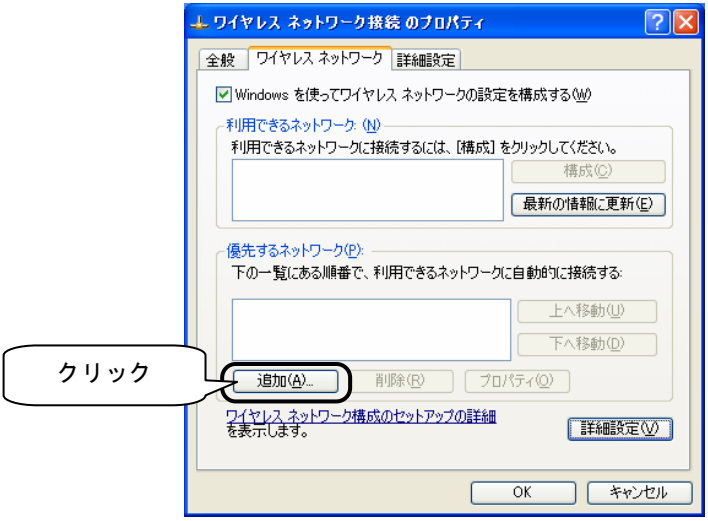
③[構成]ボタンをクリックします。



設定後、次ページへお進みください。

・[利用できるネットワーク]欄に表示がない場合

[利用できるネットワーク]欄に表示が無い場合は、[追加]ボタンをクリックし、手動で[SSID]*(57ページで確認したSSID)*を入力する必要があります。



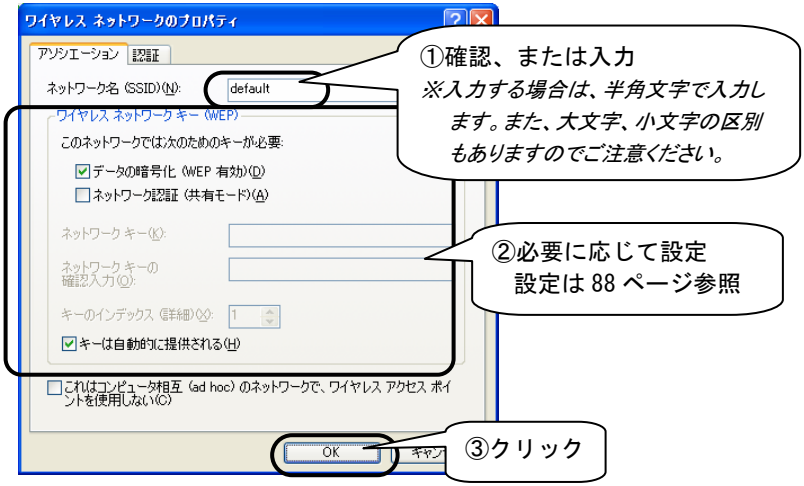
Windows XPでアクセスポイントと通信する（つづき）

参考

[利用できるネットワーク]欄の表示について

本製品は電波を発信して、本製品と通信できる無線LAN（IEEE802.11b準拠）製品を検出します。その際、SSIDを検出できた場合のみ、画面の[自動検索]欄に表示します。
アクセスポイントによっては、アクセスポイントのSSIDを、無線LANアダプタへ通知しない設定になっているものがあります。（[SSID通知機能]と呼べれている機能で、[SSID]を通知する/しないを設定することができます。詳細についてはアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。）
SSIDを通知していない設定にしている場合は、電波が届いていても画面の[自動検索]欄に表示されません。
※弊社製品の場合は初期SSIDは[default]です。また、SSIDを通知する設定になっています。
※[SSID通知機能]は、不特定多数のアクセスを防ぐために、アクセスポイント側でSSIDの通知あるいは非通知を設定できる機能です。

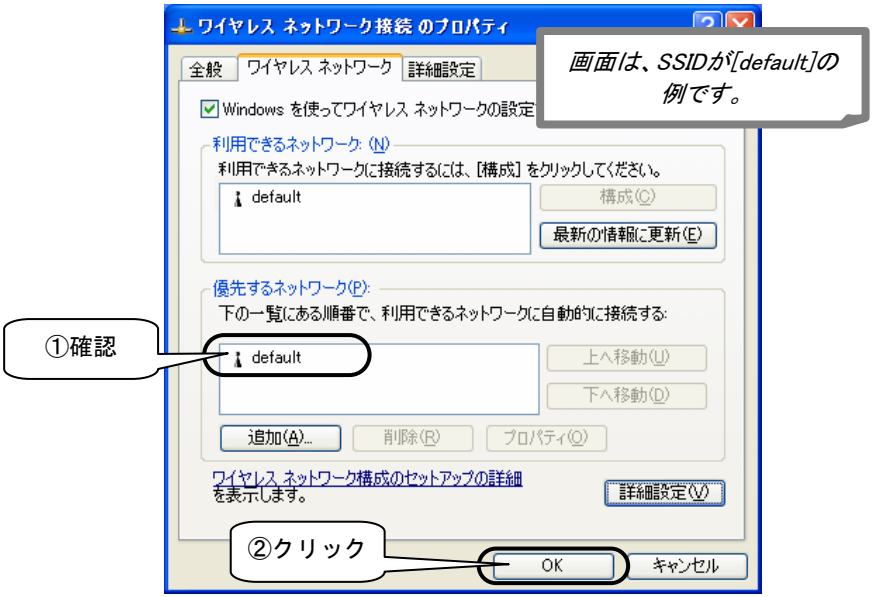
6 57ページで確認した［SSID］［暗号化キー］の設定を確認・入力後、[OK]ボタンをクリックします。



参考

暗号化キー設定の詳細については 88 ページを参考にしてください。

7　[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面で、[優先するネットワーク]に追加したSSIDが表示されていることを確認後、[OK]ボタンをクリックします。



以上でWindows XPでアクセスポイントと通信する設定は終了です。

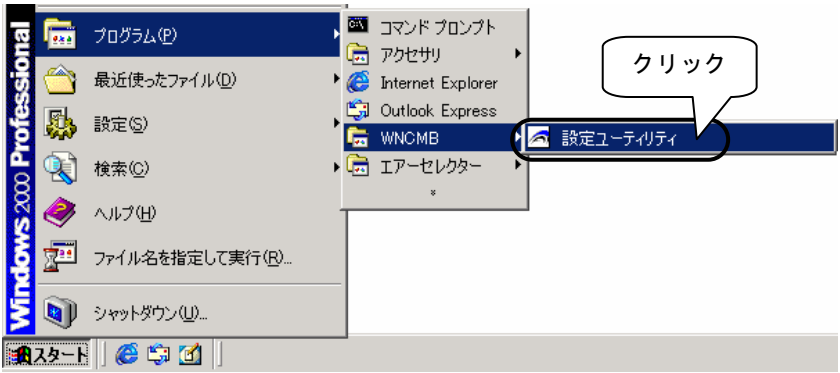
インターネットや有線LANへの接続へ　69ページへ

Windows 2000/Me/98でアクセスポイントと通信する

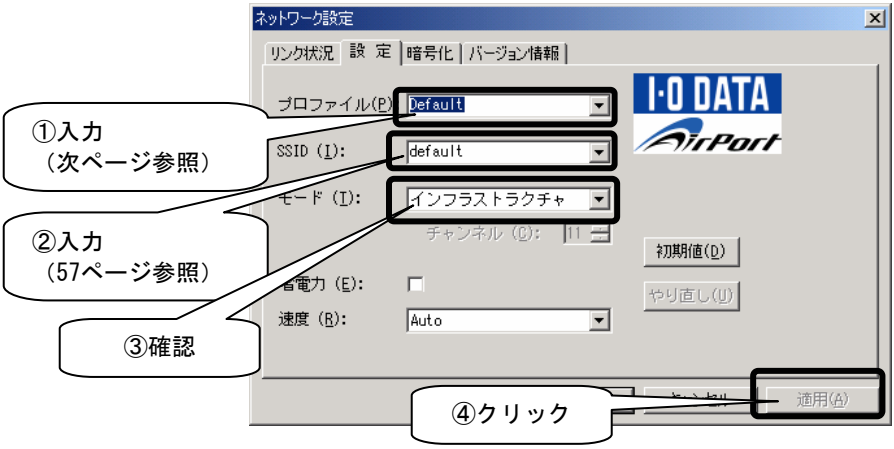
Windows 2000/Me/98では、【①ユーティリティのインストール】（18ページ）でインストールした設定ユーティリティで無線LANを設定後、無線LANアクセスポイントと通信できるようになります。

1 設定ユーティリティを起動します。

[スタート]→[プログラム]→[WNCMB]→[設定ユーティリティ]を順にクリックします。



2 ①[設定]タブで、［プロファイル名］（次ページ参照）を入力します。
②57ページでメモしたSSIDを入力します。
③[モード]が[インフラストラクチャ]であることを確認します。
④[適用]ボタンをクリックします。



Windows 2000/Me/98でアクセスポイントと通信する(つづき)

注意！

プロファイルを作成することはできますが、削除することはできません。

参考

プロファイルとは…
半角60文字以内で任意の文字を入力できます。(全角文字は入力できません。)
以下以降で設定する[SSID]、[モード]、[暗号化キー]1式を[プロファイル]と呼びます。またその設定の名前を[プロファイル名]と呼びます。
複数の接続先がある場合などに接続先に応じたプロファイル名を設定すれば、そのプロファイル名を切り替えるだけで接続先を切り替えることができます。
接続先のプロバイダ名、アクセスポイント名や場所など、分かりやすい名前を付けておくことをおすすめします。

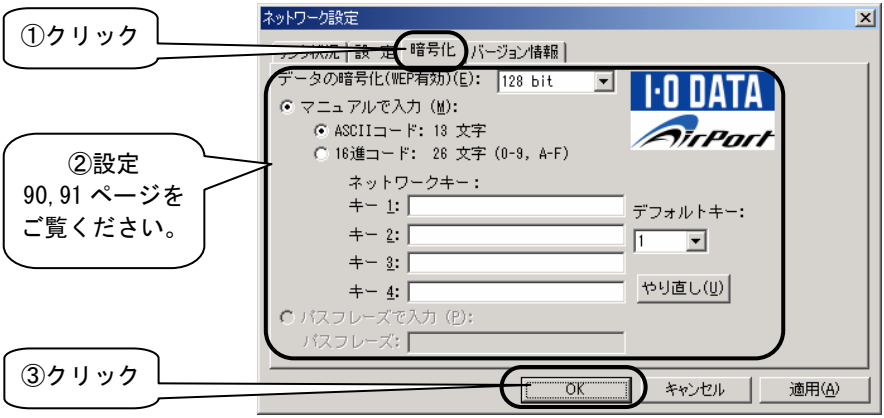
3 暗号化の設定をします。

①[暗号化]タブをクリックします。

②[暗号化(WEP)の設定]をします。

→詳しくは90、91ページをご覧ください。

③[OK]ボタンをクリックします。



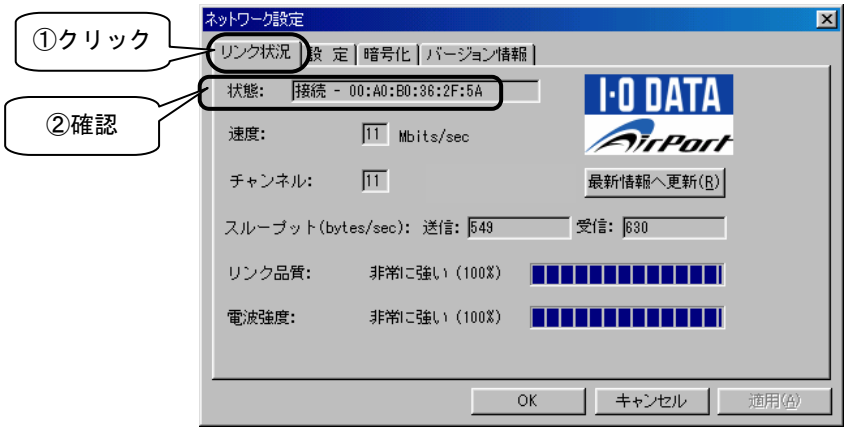
Windows 2000/Me/98でアクセスポイントと通信する(つづき)

4 正常に通信できていることを確認します。

①[リンク状況]タブをクリックします。

②正常に通信できている場合、【リンク状況】で［状態］が“接続...”と表示されます。

③確認後、［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



［状態］に[接続]と表示されていない場合は…

原因1	アクセスポイントの電源が入っていない。
対処	アクセスポイントの電源を入れてください。

原因2	本製品の無線LANの設定がアクセスポイントの設定と違っている。
対処	本製品の無線LANの設定とアクセスポイントの設定を再度ご確認ください。

以上でWindows 2000/Me/98でアクセスポイントと通信する設定は終了です。

インターネットや有線LANへの接続へ 次ページ

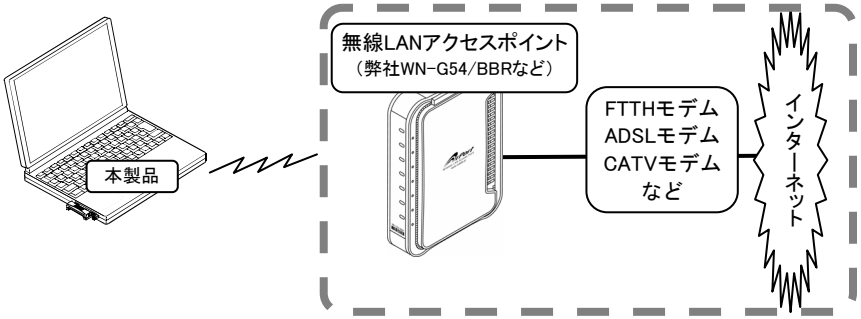
無線 LAN アダプタ設定②

無線LANからインターネットや有線LANに接続する

ここでは、本製品から無線LANで通信したアクセスポイント経由でインターネットや有線LANへ接続する手順について説明します。

注意！

ここでは無線 LAN アクセスポイント経由でのインターネット接続について説明します。
CF モデムカードを使ったインターネット接続手順については【CF モデムカードからのインターネット】(75 ページ)を参照してください。



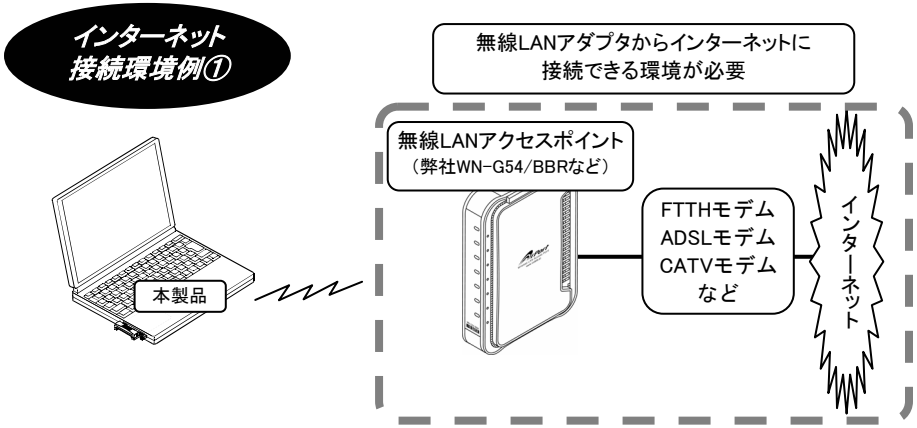
インターネットや有線LAN への接続

・無線LANからインターネットをご利用時に必要な環境

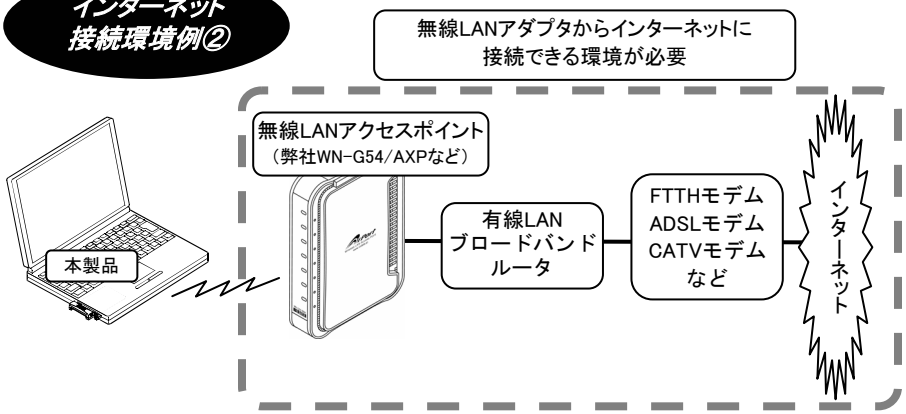
本製品を取り付けたパソコンからインターネットをご利用になりたい場合は、別途インターネットに接続できる環境※が必要です。

※*ADSLおよびケーブル（CATV）モデムなどの機器が別途必要です。*
また、プロバイダとインターネットに接続する契約も必要です。

インターネット接続環境例①

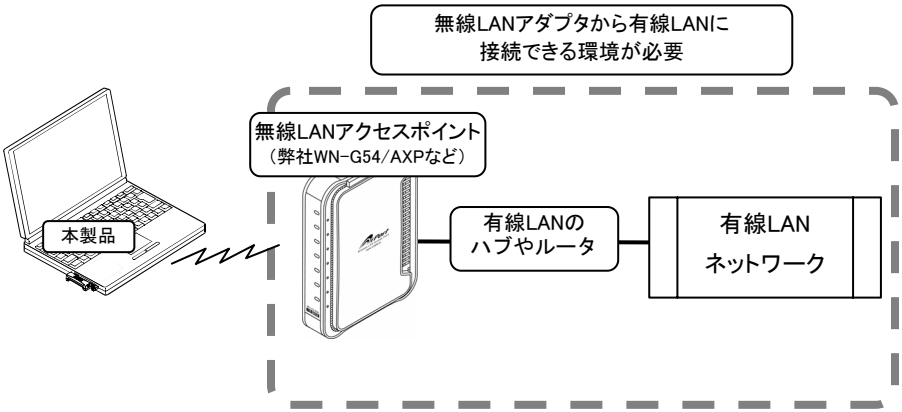


インターネット接続環境例②



・無線LANから有線LANネットワーク接続時に必要な環境

本製品を取り付けたパソコンからすでにご利用の有線LANネットワークに接続したい場合は、無線LANアクセスポイントが必要です。



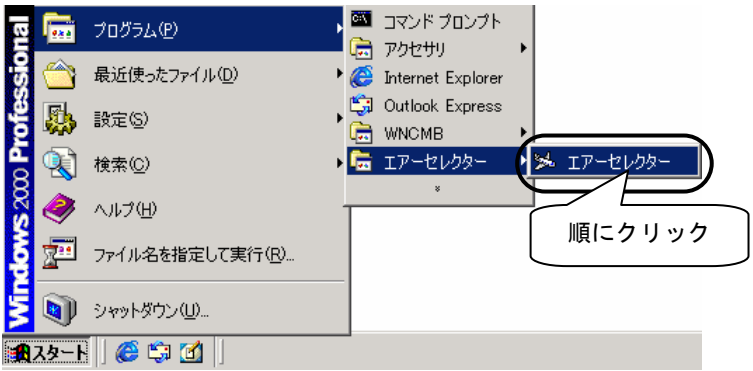
すでに導入済みの無線LAN環境がある場合

本製品を導入する前に、他の無線LANアダプタから無線LANアクセスポイント経由ですでにインターネットや有線LANに接続していた場合は、本製品からそのアクセスポイントに正常に無線LAN通信できればインターネットや有線LANに接続できます。

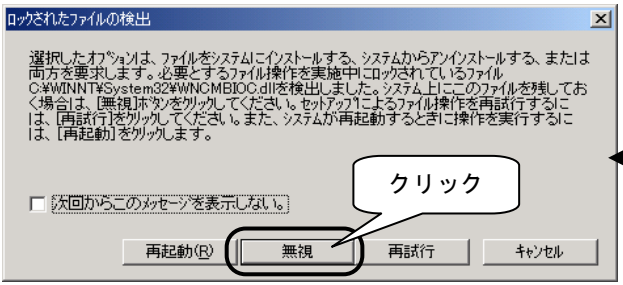
Windows 2000/Me/98 の場合は、必ず以下の手順の[エアーセレクター]で設定してからインターネットに接続してください。

1 Windows 2000/Me/98の場合は、「エアーセレクター」で[無線LAN]に設定します。

[スタート]→[プログラム]→[エアーセレクター]→[エアーセレクター]を順にクリックします。

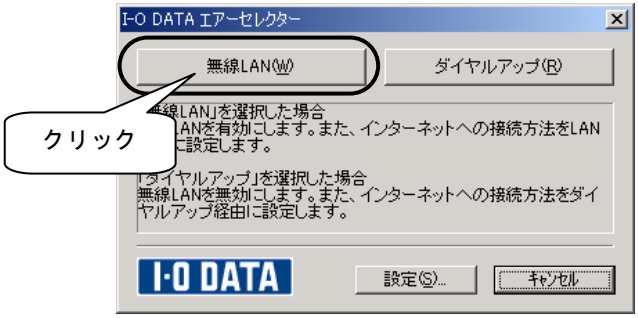


以下の画面が表示された場合は



左の画面が表示された場合は[無視]ボタンをクリックしてください。

2 ［無線LAN］をクリックします。



3 ダイヤルアップ接続中の場合以下の画面が表示されます。［はい］をクリックします。

以上でインターネットや有線LANに接続できます。

インターネットや有線 LAN に接続できない場合は…

原因1	本製品の無線LANの設定が間違っている。
対処	無線LANアクセスポイントの設定を確認し、再度【②無線LANアクセスポイントと通信するための設定】(59ページ)を参照し、設定が間違っていないか確認してください。
原因2	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	既設の環境がDHCPサーバー時、本製品のIPアドレスの設定をDHCPサーバーから取得する設定にしてください。
原因3	接続制限がかかっている。
対処	MACアドレス制限など、既設LANのセキュリティをご確認ください。

はじめて無線LANからインターネット接続する場合

はじめてインターネットや有線LANに接続する場合、アクセスポイントの設定が必要です。アクセスポイントの設定後、インターネットや有線LANに接続できるようになります。

①アクセスポイントを設定します。(アクセスポイントの取扱説明書参照)
※ADSL、ケーブル、FTTHモデムなどとの接続も行います。
※有線LAN環境がある場合は、有線LANにアクセスポイントを接続して設定することをおすすめします。
②アクセスポイントの無線LAN設定([SSID][暗号化キー])を変更した場合は、本製品の無線LANの設定も再度同じ値に変更してください。(63,66ページ参照)
③インターネットや有線LANに接続します。

注意！

Windows 2000/Me/98 の場合は、必ず 72 ページからの手順の[エアーセレクター]で[無線 LAN]に設定してからインターネットに接続してください。

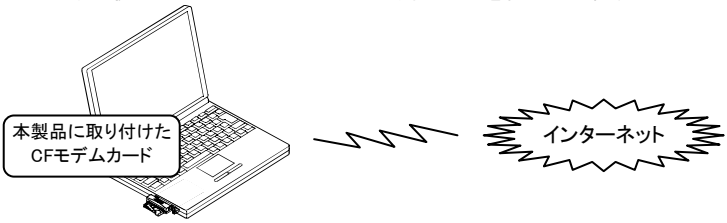
3

CFモデムカードからのインターネット

CFモデムカードからのインターネット接続手順 …… 76

CFモデムカードからのインターネット接続手順

CFモデムカードからインターネットに接続する手順については、本書には記載されておりません。お使いのCFモデムカードの取扱説明書を参照して設定してください。



弊社では、本製品の機能（無線LAN）についてのみ、サポート対象としています。
本製品を使用した場合、通常のPCカードアダプタを使用した場合、いずれもCFモデムカードとしての動作は同じです。
同時にご利用になるCFモデムカード(AirH ″など)について、および、その設定（ダイヤルアップ接続など）については、各CFモデムカードメーカー、各インターネットプロバイダにお問い合わせください。

【1 インストールと取り付け】(15ページ)では、本製品でCFモデムカードを使うために必要な設定ファイル(INFファイル)のインストールまでを説明しました。
（［デバイスマネージャ］で認識されていれば、モデムとして使用できるようになっています。）
ただし、実際にCFモデムカードからインターネットに接続するには、以下の設定が必要です。

①インターネット・サービスを受けるためにプロバイダと、ダイヤルアップIP接続の契約を行う必要があります。

※詳細についてはプロバイダにご確認ください。

②CFモデムに対してダイヤルアップ設定を作成する必要があります。

プロバイダと契約時に入手した資料の情報（ユーザー名、パスワード、接続先の電話番号など）をもとに、Windows上でインターネットに接続するダイヤルアップを設定する必要があります。

※詳細についてはCFモデムカードの取扱説明書を参照してください。

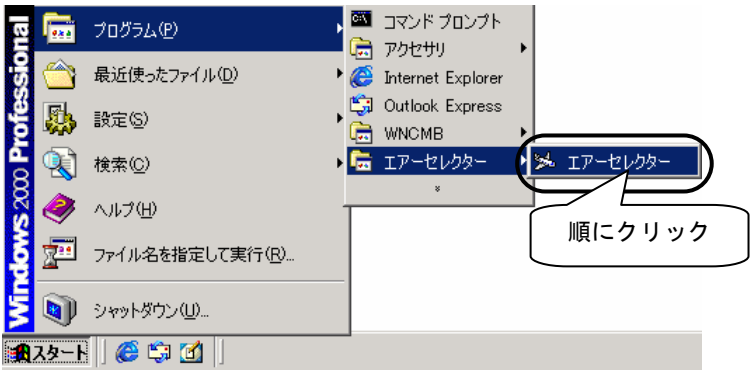
注意！

Windows 2000/Me/98 の場合は、必ず以下の手順の[エアーセレクター]で設定してからインターネットに接続してください。

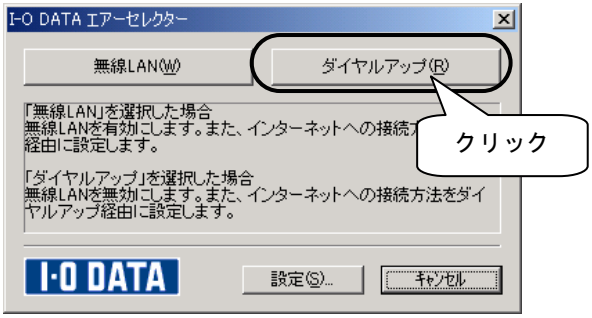
インターネットに接続する前に

1 Windows 2000/Me/98の場合は、「エアーセレクター」で［無線LAN］に設定します。

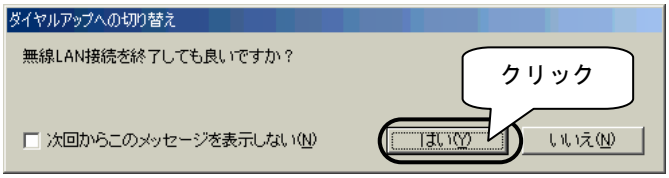
［スタート］→[プログラム]→[エアーセレクター］→[エアーセレクター]を順にクリックします。



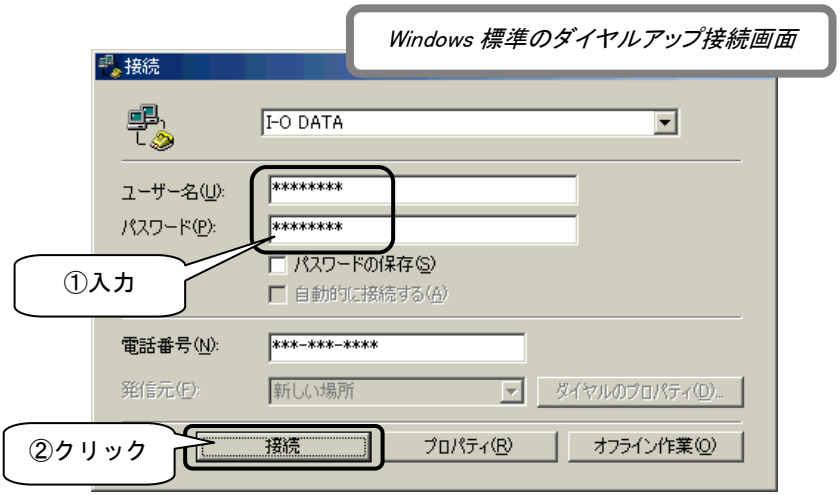
2 ［ダイヤルアップ］をクリックします。



3 ［はい］をクリックします。



4 Windows標準のダイヤルアップ画面が表示されます。
ご契約済みのインターネットプロバイダから案内された［ユーザー名］や［パスワード］を入力後、［接続］をクリックします。



以上でインターネットや有線LANに接続できます。

その他の設定や使い方

その他の設定① CFモデムカードを取り替える場合 ……80
その他の設定② 無線LANとモデムの切り替え ……82
その他の設定③ 無線LAN通信を暗号化する設定 ……84
その他の設定④ 無線LANアダプタのみで通信する ……92

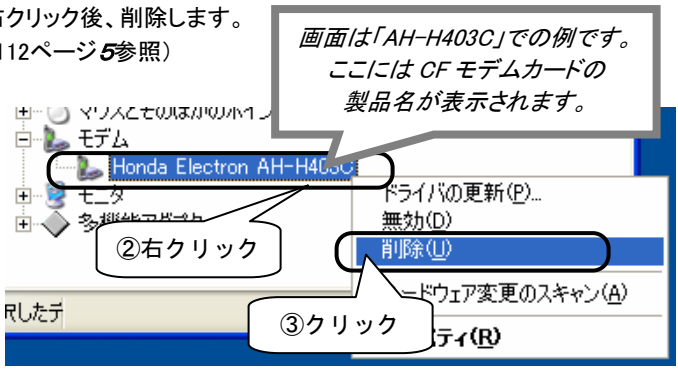
その他の設定①

CFモデムカードを取り替える場合

本製品で現在お使いのCFモデムカードを別のCFモデムカードに取り替える場合は、再度お使いになるCFモデムカードに応じてユーティリティをインストールし直す必要があります。以下の手順を行ってください。

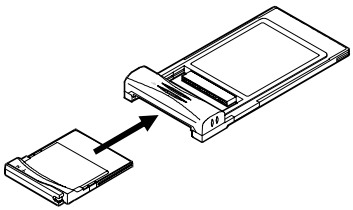
①CFモデムカードドライバの削除

[デバイスマネージャ]画面から[モデム]を開いて、CFモデムカードを右クリック後、削除します。
（112ページ*5*参照）



②CFカードの取り替え

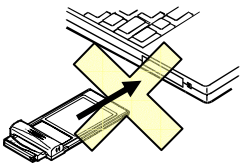
パソコンから本製品を取り出し、
さらにCFモデムカードを取り替えて
本製品に取り付けます。



注意！

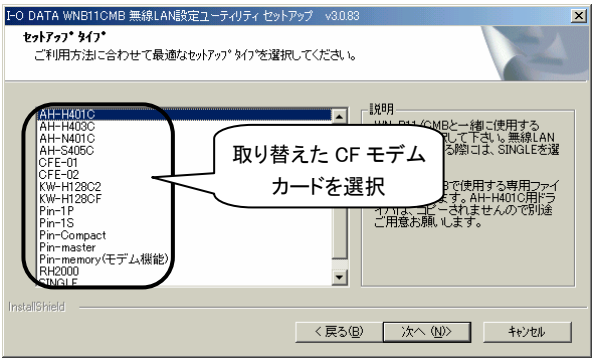
ここではまだ本製品を挿入しないでください。

ユーティリティソフトをインストールしてから本製品をパソコンに挿入します。ここではまだ、挿入しないでください。



③取り替えるCFカード用にユーティリティをインストール 18ページ

本製品添付の「サポートソフト」CD-ROMからユーティリティを再度インストールします。
インストール時に、以下のセットアップタイプ選択画面で取り替えたCFモデムカードを選択してインストールします。
（【ユーティリティのインストール】18ページ参照）

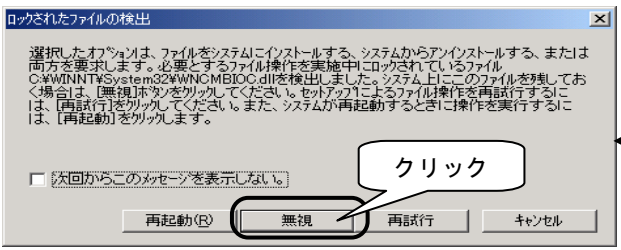


④取り替えたCFカード用設定ファイルをインストール 25ページ

1. CFカードを取り付けた本製品をパソコンに挿入します。
2. 取り替えたCFカード用の設定ファイルの入ったCD-ROMから必要なソフトウェアをインストールします。
   インストール手順については、【パソコンに取り付ける】（25ページ）以降を参照してください。

終了

以下の画面が表示された場合は



左の画面が表示された場合は[無視]ボタンをクリックしてください。

その他の設定②

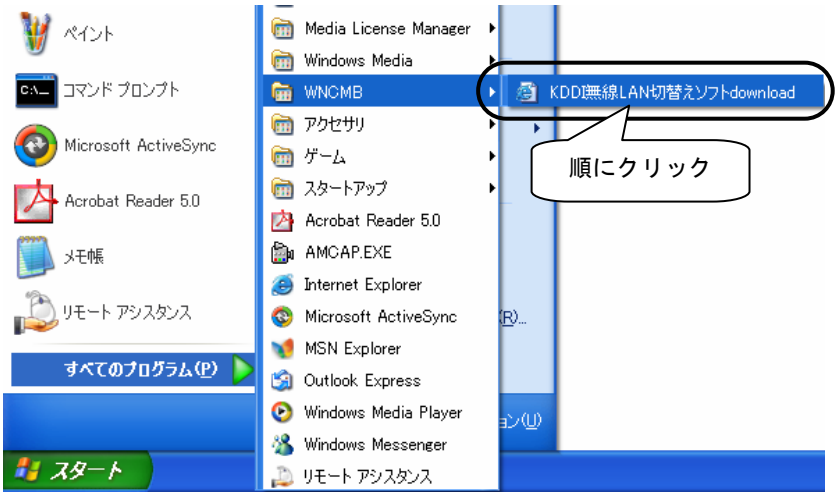
無線LANとモデムの切り替え

本製品には「無線LAN」と「モデム」を切り替えできるユーティリティを添付しています。
ご活用ください。

Windows XPでの切り替え

Windows XPの場合、切り替えソフトは添付しておりません。
以下の個所をクリックして、切り替えソフトをダウンロードしてください。

[スタート]→[すべてのプログラム]→[WNCMB]→[KDDI無線LAN切替えソフトdownload]



参考

上記の「無線LAN切替えソフト」は無線LANの電波状態を監視して、「無線LAN」⇔「AirH"等によるモバイル接続」間で常に最適なネットワークに接続を切替えます。自動的に切替えることにより、シームレスなモバイル利用を支援するソフトです。

Windows 2000/Me/98での切り替え

Windows 2000/Me/98では、「無線LAN」と「モデム」を切り替えるユーティリティ「エアーセレクター」を添付しています。

「エアーセレクター」のインストール手順については【②エアーセレクターのインストール】（22ページ）を参照してください。

注意！

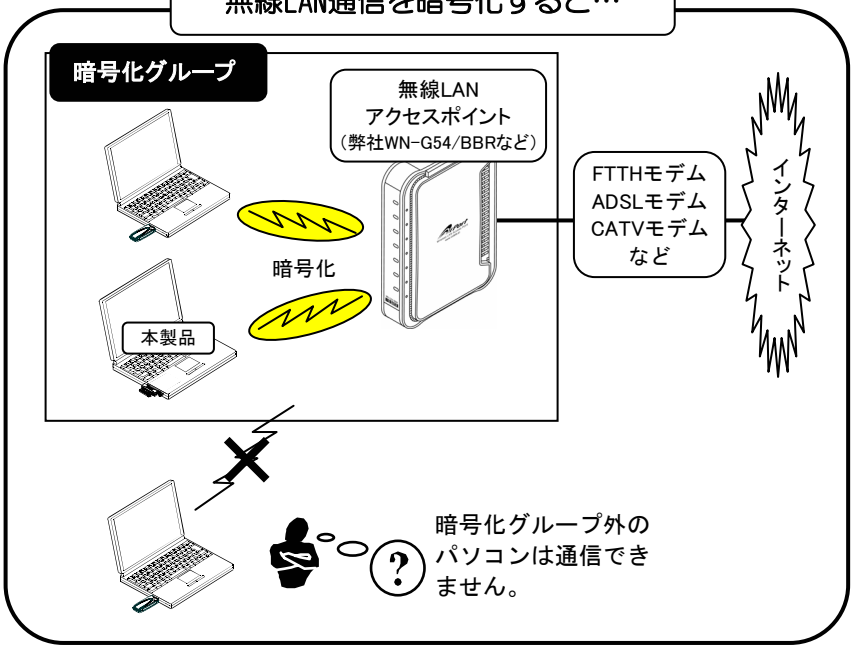
Windows Me/98 の場合、「無線 LAN」と「モデム」を切り替えないと正常にインターネットに接続できません。
必ず、「エアーセレクター」で切り替えてから、インターネットに接続してください。
（手順については 72、77 ページを参照してください。）

その他の設定③

無線LAN通信を暗号化する設定

無線LAN通信時に暗号化していない場合、電波の届く範囲であれば、通信内容を傍受される危険があります。本製品では、無線LANの暗号化の標準であるWEP（Wired Equivalent Privacy）での暗号化を行うことによって、傍受の危険を回避することができます。ここでは、本製品の通信を暗号化する方法を説明します。

無線LAN通信を暗号化すると…



注意！

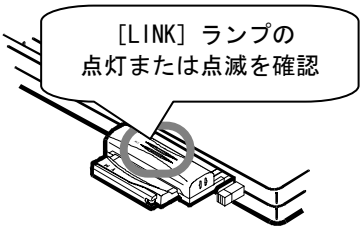
- **暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべての無線LAN機器（アクセスポイントや無線LANアダプタ）に同じ暗号化キーを設定する必要があります。**
  他の無線LAN機器に暗号化が設定されていない場合は、暗号化を設定する必要はありません。
- **Windows XP/2000では、Administrators権限（管理者権限）のあるユーザーのみが設定できます。**
  Users権限のユーザーは、Administrators権限（管理者権限）のユーザーが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

暗号化を設定する

無線LAN通信の暗号化を設定します。

1 本製品を装着した
パソコンの電源を入れます。

本製品の［LINK］ランプが点灯または点滅していることを確認してください。



ランプ	モード	状態
LINK	インフラストラクチャ [Infrastructure]	緑色点灯 ： アクセスポイントと通信が行われている状態 緑色点滅 ： ネットワーク上にアクセスポイントが見つからない状態、または機能が停止している状態
	アドホック [Ad hoc]	緑色点灯 ： 通信できる他の無線LAN製品を探している状態、または、他の無線LAN製品と通信できる状態 緑色点滅 ： 機能が 停止している状態

ランプが
消灯している場合は…

【困ったときには】の
132 ページをご覧ください。

この後、Windows XPとWindows 2000/Me/98では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows XPの場合 → 次ページへ

Windows 2000/Me/98の場合 → 90ページへ

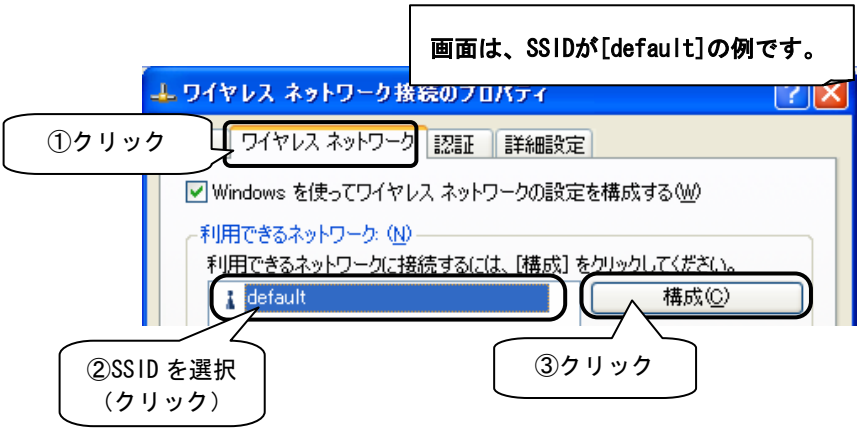
Windows XPでの暗号化

1 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]で[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

※[ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面の開き方については62ページ参照

2 暗号化設定をするネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。
②暗号化設定をする接続（SSID）を選択します。
③[構成]ボタンをクリックします。



[利用できるネットワーク]に SSID が表示されない場合は…

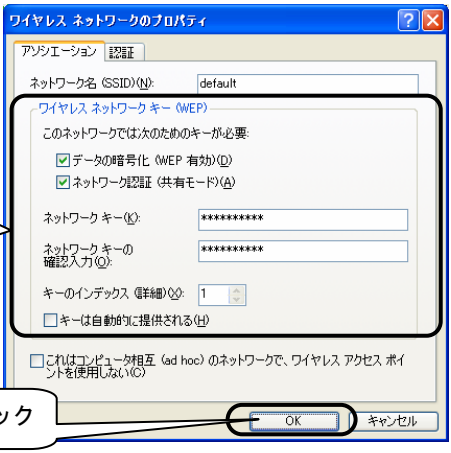
・[最新の情報に更新]ボタンをクリックしてみてください。
・【困ったときには】の141 ページをご覧ください。

Windows XPでの暗号化（つづき）

画面はWindows XP Service Pack 1 での例です。

3 右の画面で暗号化キーを設定後、［OK］ボタンをクリックします。

①暗号化通信する機器（アクセスポイントなど）と同じ設定にします。　（次ページ参照）



②クリック

画面の詳細については…　次ページ参照

注意！

・設定後、画面を開いたときには、暗号キーは[＊]や[●]で表示されます。
・本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。

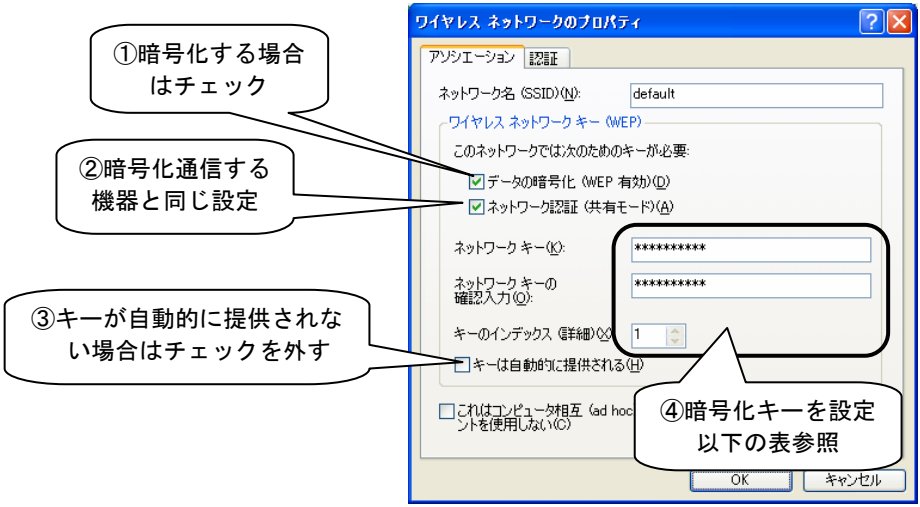
4 ［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

以上で暗号化キーの設定は終了です。

Windows XPでの暗号化（つづき）

暗号化キー設定画面の詳細

画面はWindows XP Service Pack 1での例です。Service Pack 1でない場合は画面が異なります。



データの暗号化（WEP有効）	暗号化(WEP)を有効にする場合にチェックします。
ネットワーク認証（共有モード）	共有キー(シェアードキー)を使用する場合にチェックします（チェックを付けない場合は、[Open System]となります。）
ネットワークキー	暗号キーを入力します。（16進数、ASCII）
ネットワークキーの確認入力	上記[ネットワークキー]と同じ暗号キーを入力します。
キーのインデックス（詳細）	インデックスを1～4の範囲で指定します。 通常は1を指定します。
キーは自動的に提供される	ネットワークキーがアクセスポイント（ルータ）側から、自動で提供される環境の場合はチェックします。

入力方式の異なる他社製品との暗号化について

本製品を含む WN シリーズでは、暗号キーとして 16 進コードでの暗号キー入力方式を採用していますが、他社製品には、英数字・記号で暗号キーを指定する方式や、文字列から 16 進コードへ変換する際、本製品と変換方式の異なる製品があります。
これらの製品と暗号化を行う場合は、最初に英数字・記号で暗号キーに使用する文字列を決め、16 進コードを入力できない他社製品はこの文字列を入力します。
WN シリーズや 16 進コードを入力可能な他社製品にはこの5文字の文字列を以下対応表に基づき、16 進コードに変換し、入力することで通信可能となります。
各文字と 16 進コードの対応については以下の表を参照してください。

〈例〉 文字で ″WNB11″ と設定している場合、
16進コードでは［57 4e 42 31 31］となります。

参考

パソコンで使用される文字と 16 進数の対応表

パソコンの画面に表示される文字など、パソコンで使用される文字は本来16進数で構成されています。（パソコンは16進数で文字を認識します。）
例えば画面上に半角文字で 1 と表示されている文字は、パソコン内部では 31 という16進数のコードで認識され、表示しています。
※漢字の場合は異なります。
本製品の暗号化設定時など、この16進数のコードで設定します。

文字	16進
!	21
″	22
#	23
$	24
%	25
&	26
'	27
(	28
)	29
*	2a
+	2b
,	2c
−	2d
.	2e
/	2f

文字	16進
0	30
1	31
2	32
3	33
4	34
5	35
6	36
7	37
8	38
9	39
:	3a
;	3b
<	3c
=	3d
>	3e
?	3f

文字	16進
@	40
A	41
B	42
C	43
D	44
E	45
F	46
G	47
H	48
I	49
J	4a
K	4b
L	4c
M	4d
N	4e
O	4f

文字	16進
P	50
Q	51
R	52
S	53
T	54
U	55
V	56
W	57
X	58
Y	59
Z	5a
[	5b
¥	5c
]	5d
^	5e
_	5f

文字	16進
`	60
a	61
b	62
c	63
d	64
e	65
f	66
g	67
h	68
i	69
j	6a
k	6b
l	6c
m	6d
n	6e
o	6f

文字	16進
p	70
q	71
r	72
s	73
t	74
u	75
v	76
w	77
x	78
y	79
z	7a
{	7b
|	7c
}	7d
~	7e

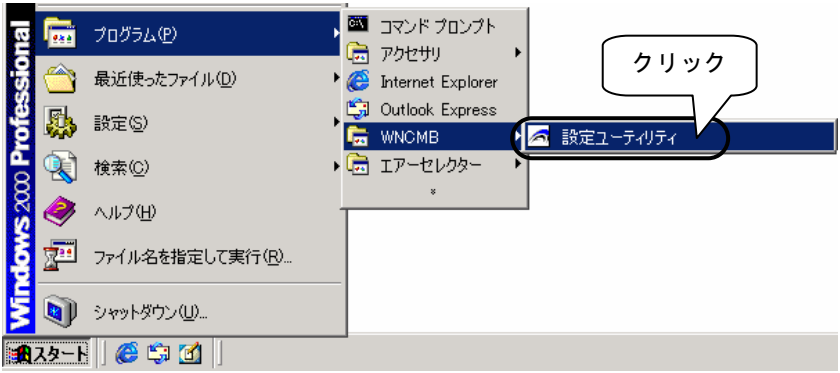
Windows 2000/Me/98での暗号化

Windows 2000/Me/98では、インストールした「設定ユーティリティ」で無線LANの暗号化を設定できます。

※Windows 2000ではAdministrators権限（管理者権限）のあるユーザでのみ設定可能
※画面はWindows 2000を例にしています。

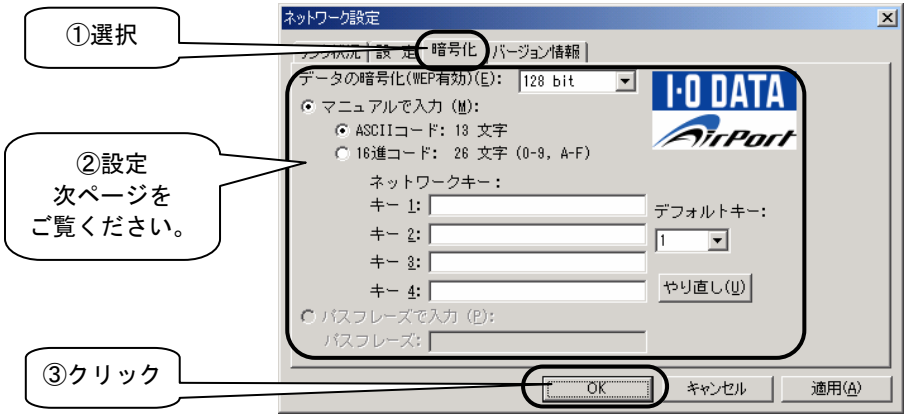
1 設定ユーティリティを起動します。

[スタート]→[プログラム]→[WNCMB]→[設定ユーティリティ]を順にクリックします。



2 暗号化の設定をします。

①[暗号化]タブをクリックします。
②[暗号化(WEP)の設定]をします。　→詳しくは次ページ
③[OK]ボタンをクリックします。



Windows 2000/Me/98での暗号化

暗号化キー設定画面の詳細

①[データの暗号化（WEP有効）]を選択します。

なし	通信時の暗号化は行いません。
64 bit	64Bitの暗号化を行います。
128bit	128Bitの暗号化を行います。

②キーを設定します。

→[ASCIIコード]か[16進コード]かを選択し、[ネットワークキー]を入力します。

入力するキー	設定する値は、本製品と通信する機器と同じ値にする必要があります。 すでに設定済みの機器と通信する場合は、設定済み機器の暗号キーの値を確認し、入力してください。 *[ASCIIコード]の場合* ASCIIコード（89ページ表参照）を入力できます。 *[16進コード]の場合* 0～9またはA～Fの文字列を用いて入力できます。

③[デフォルトキー]を決めます。

[キー1]～[キー4]のうち、使用するキーを選択します。

（[やり直し]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。）

注意！

- **暗号化を行う場合、暗号化で通信するすべてのパソコンで設定する必要があります。**
- **アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントの暗号化キーに合わせてください。**
- **本製品の WEP キーは、WN-B11/PCM などで使用していたパスフレーズとは互換性がありません。16 進コードまたは ASCII コードのみ互換性があります。**
- **[パスフレーズで入力]は使用できません。**

参考

暗号化の設定レベル（64bit、128bit）が高いほど強固な暗号化になりますが、無線LAN自体の速度が遅くなる場合があります。

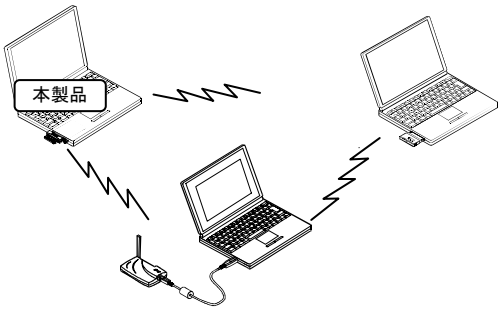
その他の設定④

無線LANアダプタのみで通信する

本製品以外に無線LANアダプタしか無い場合（無線LANアクセスポイントが無い場合）は、本製品と他の無線LANアダプタは*アドホック モード*で通信できます。
本製品を取り付けたパソコンから無線LAN通信したパソコンのファイルを共有できるようになります。

アドホックモードとは？

図のようにアクセスポイントを介さずに、無線LANパソコン同士で直接通信し合う形態



注意！

●アドホックモードにした場合、アクセスポイントとの通信はできなくなります。（アクセスポイントと通信する場合はインフラストラクチャモードのみ）
●Windows XP/2000では、Administrators権限（管理者権限）のあるユーザーのみが設定できます。
Users権限のユーザーは、Administrators権限（管理者権限）のユーザーが設定した内容で通信できます。（設定変更はできません。）

①無線LANの設定を確認する

本製品と無線LANで接続する他の無線LANアダプタの設定を確認します。(モードは[アドホック]を設定します。)

すでに他の無線LANアダプタ同士(Ad hocモード)で通信を行っている場合

すでに使用している無線LAN環境の設定を以下にメモしてください。
この後のステップで設定します。

※ここで使用しているSSID、チャンネル、暗号化設定を以下にメモ

▼確認したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを記入してください。

SSID(ESSID)	【　　】
チャンネル	【　　】
暗号化キー	【　　】

他の無線LANアダプタとの通信へ　次ページ

これからはじめて他の無線LANアダプタと通信を行う場合

これからはじめて他の無線LANアダプタ同士で通信を行う場合は、以下の設定値を決めてから実際の設定を行います。

以下の設定は通信する他の無線LANアダプタと同じ設定にする必要があるため、本製品をアドホックモード時の初期値、あるいは他の製品のアドホックモード時の初期値のいずれかで設定します。

その際、決定したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを以下にメモしてください。

※通常、本製品を含む無線LAN製品添付のユーティリティは初期値のモードは[インフラストラクチャ]モードです。
以下にメモするのは、アドホックモード時の初期値です。

▼決定したSSID(ESSID)、チャンネル、暗号化キーを記入してください。

	本製品の初期値	他の製品の初期値
モード	アドホック（Ad hoc）	
SSID(ESSID)	default	【 】
チャンネル	6	【 】
暗号化キー	設定なし	【 】

※通常、無線LANのモードの初期値は[インフラストラクチャ]です。
※SSID、チャンネル、暗号化キーについては次ページの参考も参照してください。

参考

SSIDとは？

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。SSIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。アクセスポイントによっては、SSIDがESSIDと記載されている場合もあります。

※任意の文字列を設定できます。ただし、半角英数字32文字以内で設定します。大文字、小文字の区別もあります。

チャンネルとは？

無線LANで使用する電波の周波数帯域の番号です。
1～14のいずれかを選択できます。

※アドホックモード時の、本製品あるいは、他の無線LANアダプタの初期値のチャンネルを設定します。

暗号化キーとは？

無線LAN通信時に通信内容を傍受されることを防ぐために暗号化する際のキーです。詳細は82ページを参照してください。

※無線LAN通信が正常に終了した後に設定することをおすすめします。

他の無線LANアダプタとの通信へ 次ページ

②他の無線LANアダプタと通信する

前ページまでで確認した[SSID]、[チャンネル]、[暗号化キー]を設定します。

設定後、他の無線LANアダプタと通信できるようになります。

ここでは、本製品を他の無線LANアダプタと同じ設定にする手順について説明します。

注意！

他の無線LANアダプタの必要な設定（ドライバソフトのインストール、設定ユーティリティのインストールなど）は終了しておいてください。

参考

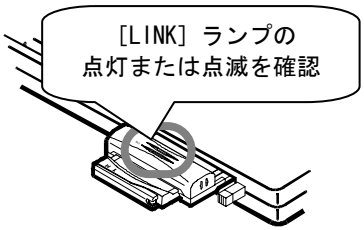
他の無線LANアダプタの設定を本製品の設定に合わせる場合は、他の無線LANアダプタの取扱説明書を参照してください。

1 他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源が入っていることを確認します。

※以下の手順以降で実際に本製品と他の無線LANアダプタの通信を行いますので、他の無線LANアダプタを搭載したパソコンの電源を入れておいてください。

2 本製品を装着したパソコンの電源を入れます。

本製品の［LINK］ランプが点灯または点滅していることを確認してください。



ランプ	状態	状態
LINK	緑色点灯	他の無線LANアダプタと通信が行われている状態
	緑色点滅	ネットワーク上に他の無線LANアダプタが見つからない状態、または機能が停止している状態 ※点滅するのは、この時点ではまだ、本製品と他の無線LANアダプタの無線LAN設定が異なっているためです。次ページ以降の手順で無線LAN設定しますので問題ありません。（設定後、点灯します。）

②他の無線LANアダプタと通信する（つづき）

この後、Windows XPとWindows 2000/Me/98では手順が異なります。
以下の個所へお進みください。

Windows XPの場合 → 次ページへ

Windows 2000/Me/98の場合 → 101ページへ

Windows XPでの他の無線LANアダプタとの通信

Windows XPでは、Windows XP標準の［ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ］で無線LANを設定後、他の無線LANアダプタと通信できるようになります。

1　［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

2　［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

参考

［クラシック表示］の場合は、［ネットワーク接続］アイコンをダブルクリックして手順*4*へお進みください。

3　［ネットワーク接続］をクリックします。

4　インストール済みの［ワイヤレスネットワーク接続］アイコンを選択し、［この接続の設定を変更する］をクリックします。

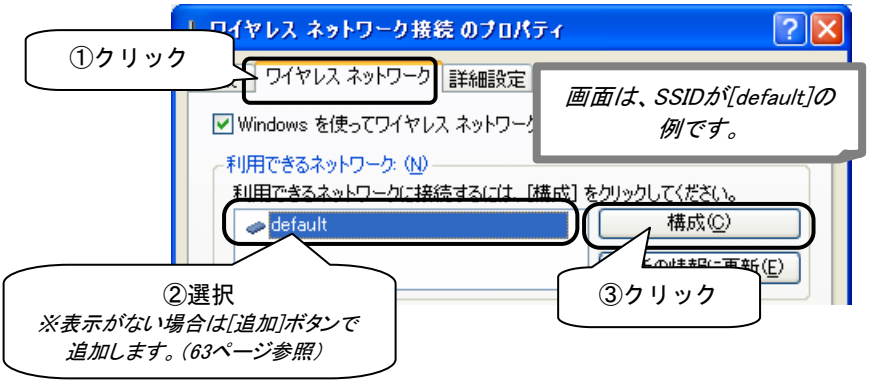
Windows XPでの他の無線LANアダプタとの通信（つづき）

5 通信するネットワークを選択します。

①[ワイヤレスネットワーク]タブをクリックします。

②[利用できるネットワーク]で93,94ページで確認したSSIDを選択します。

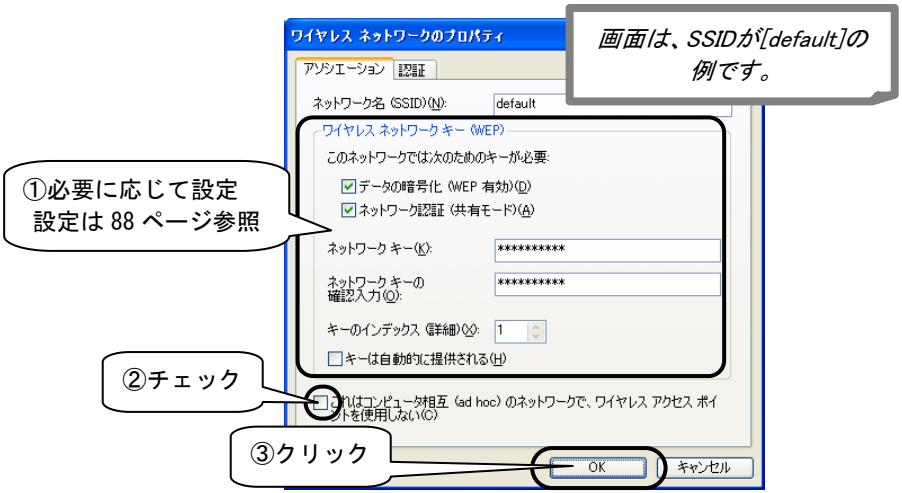
③[構成]ボタンをクリックします。



6 以下を設定後、[OK]ボタンをクリックします。

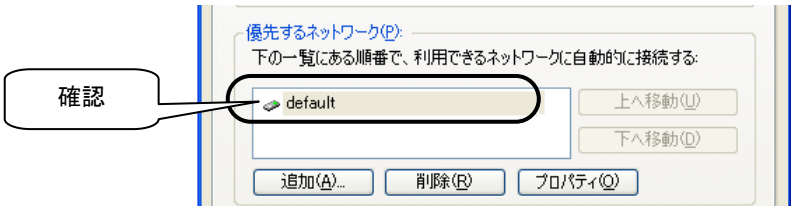
①通信する無線LANアダプタと同じ暗号化キー *(93,94ページで確認した暗号化キー)*を設定

②「これはコンピュータ相互（Ad hoc）…」にチェック



Windows XPでの他の無線LANアダプタとの通信(つづき)

7 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]画面で、[優先するネットワーク]に追加したSSIDが表示されていることを確認します。



8 [ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ]へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックします。

以上でWindows XPでの他の無線LANアダプタとの通信設定は終了です。
（必要に応じてIPアドレスを固定する設定も併用してください。）

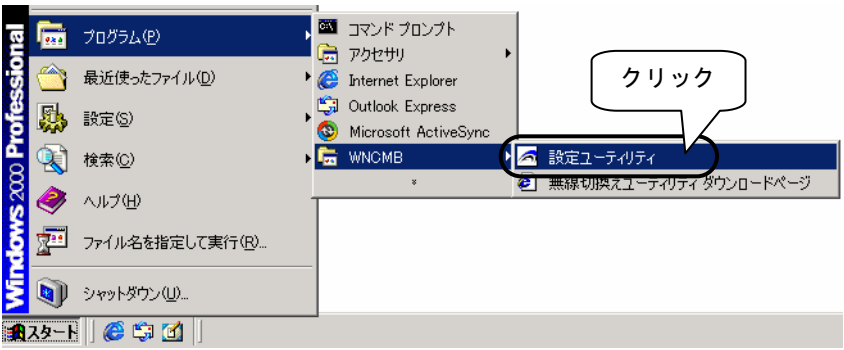
Windows 2000/Me/98での他の無線LANアダプタとの通信

Windows 2000/Me/98では、インストールした「設定ユーティリティ」で無線LANを設定後、他の無線LANアダプタと通信できるようになります。

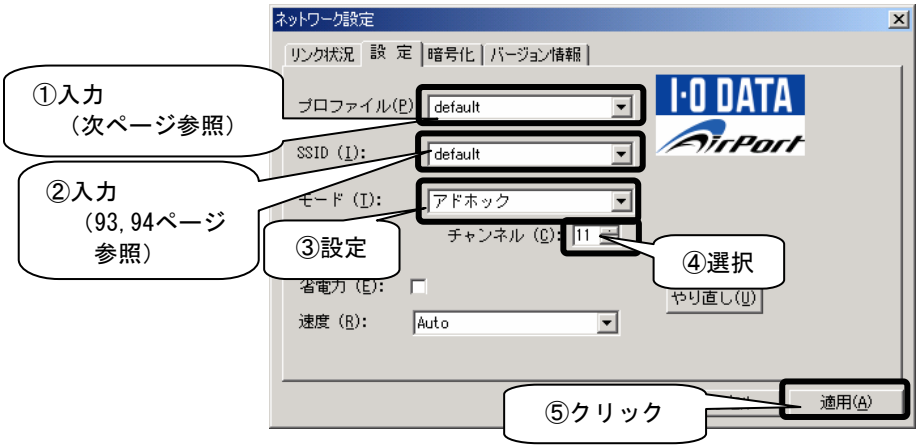
※Windows 2000ではAdministrators権限（管理者権限）のあるユーザーでのみ設定可能
※画面はWindows 2000を例にしています。

1　設定ユーティリティを起動します。

[スタート]→[プログラム]→[WNCMB]→[設定ユーティリティ]を順にクリックします。



2　①[設定]タブで、［プロファイル名］（次ページ参照）を入力します。
②93、94ページでメモしたSSIDを入力します。
③[モード]を[アドホック]に設定します。
④[チャンネル]で、93,94ページでメモしたチャンネルを選択します。
⑤[適用]ボタンをクリックします。



Windows 2000/Me/98での他の無線LANアダプタとの通信

注意！

プロファイルを作成することはできますが、削除することはできません。

参考

プロファイルとは…
半角60文字以内で任意の文字を入力できます。
以下以降で設定する[SSID]、[モード]、[暗号化キー]1式を[プロファイル]と呼びます。またその設定の名前を[プロファイル名]と呼びます。
複数の接続先がある場合などに接続先に応じたプロファイル名を設定すれば、そのプロファイル名を切り替えるだけで接続先を切り替えることができます。
接続先のプロバイダ名、アクセスポイント名や場所など、分かりやすい名前を付けておくことをおすすめします。

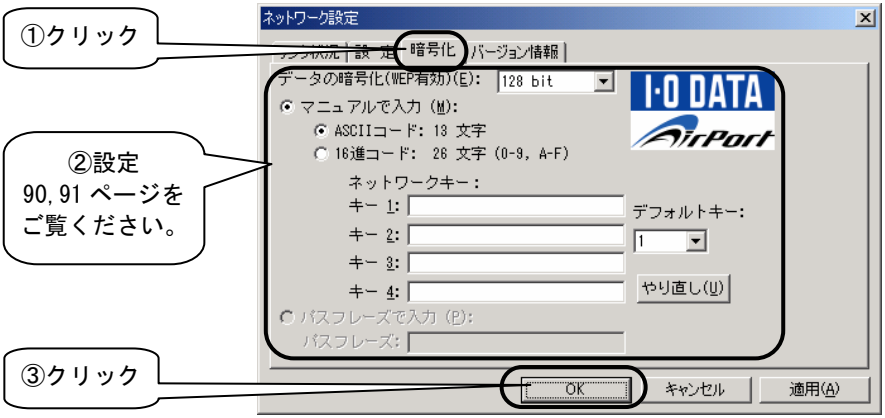
3 暗号化の設定をします。

①[暗号化]タブをクリックします。

②[暗号化(WEP)の設定]をします。

→詳しくは90,91ページをご覧ください。

③[OK]ボタンをクリックします。



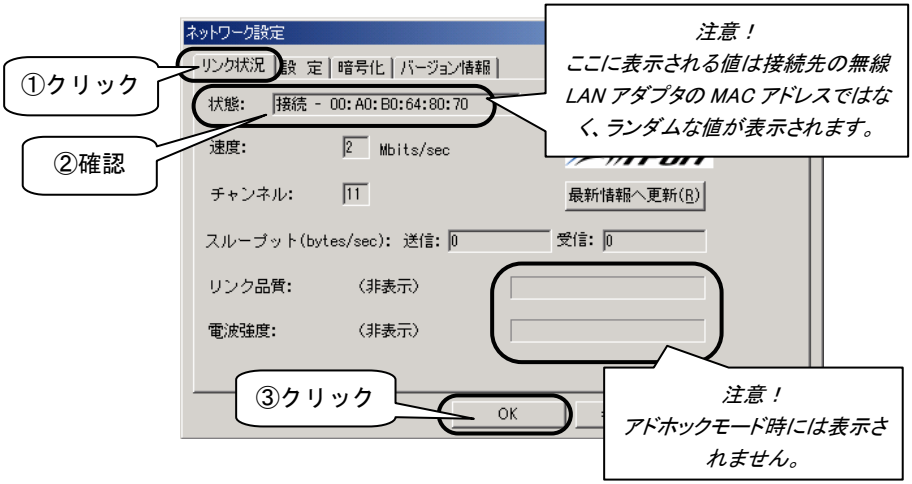
Windows 2000/Me/98での他の無線LANアダプタとの通信

4 正常に通信できていることを確認します。

①[リンク状況]タブをクリックします。

②正常に通信できている場合、【リンク状況】で［状態］が“接続...”と表示されます。

③確認後、［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じてください。



以上でWindows XPでの他の無線LANアダプタとの通信設定は終了です。
（必要に応じてIPアドレスを固定する設定も併用してください。）

MEMO

ふろく

Windows使用中に取り出す ・・・・・・ 106

無線LANのみ使用する場合のインストール 108

アンインストール ・・・・・・・・・・・ 110
（インストールしたソフトの削除）

無線LANユーティリティの詳細 ・・・・ 121
（Windows 2000/Me/98）

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 125

Windows使用中に取り出す

本製品は、パソコンの電源を切った後にPCカードスロットから取り出すことができますが、Windows使用中に取り出すこともできます。

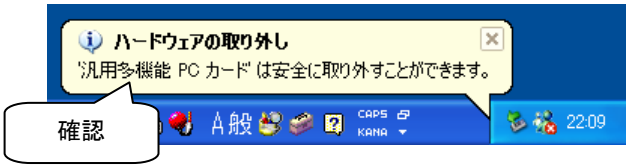
注意！

- **CF モデムカードのみをパソコンから取り出すことはできません。必ず、本製品を取り出してから CF モデムカードを取り外してください。**
- **本製品を取り出す場合は、本製品を使用していない、また、他のパソコンからアクセスされていないことを確認してから以下の手順を行って取り出してください。**
- **以下および次ページ以降の手順を行うと、実際に本製品を抜かなくても動作は終了したとみなされ、本製品は使用できなくなります。再度使用したい場合は、いったん本製品を取り出し、再び挿入してください。**

Windows XPの場合

1 **画面右下のタスクトレイの アイコンをクリックし、［汎用多機能PCカードを…］をクリックします。**

2 **以下が表示されることを確認します。**



3 **本製品をPCカードスロットから取り出します。**

Windows 2000/Me/98の場合

1 画面右下のタスクトレイの （または ）アイコンをクリックし、［IO DATA WNB11CMB-MF …］をクリックします。

Windows 2000の場合

Windows Me/98の場合

2 ［OK］ボタンをクリックします。

3 本製品をPCカードスロットから取り出します。

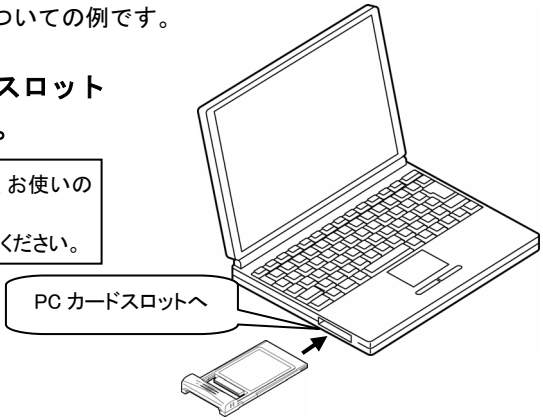
無線LANのみ使用する場合のインストール

本製品を無線LANのみで使用（CFモデムカードを使用しない）場合のインストール手順について説明します。あらかじめ、【ユーティリティのインストール】（18ページ）を行っておいてください。

※以下の手順はWindows XPについての例です。

1 パソコンのPCカードスロットの奥まで挿入します。

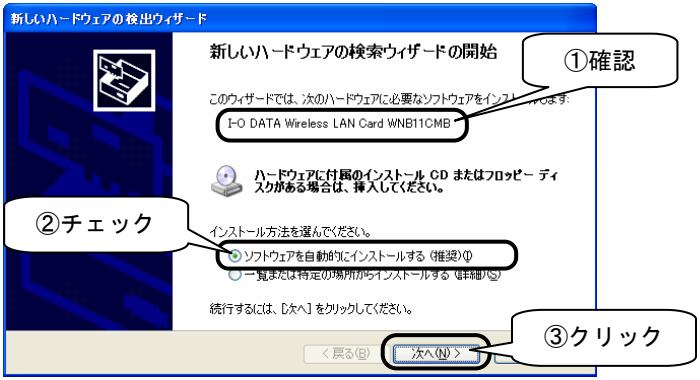
PC カードスロットの位置は、お使いのパソコンによって異なります。
パソコンの取扱説明書をご覧ください。



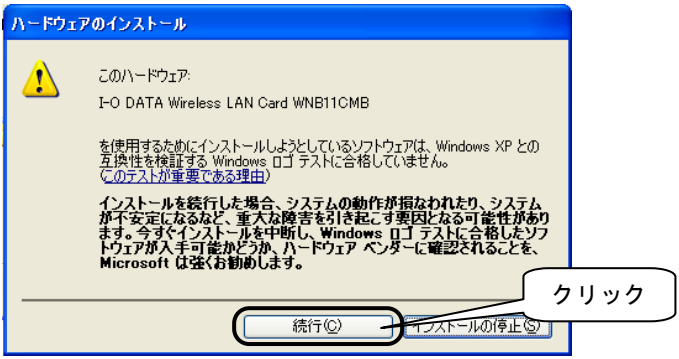
注意！

・このとき挿入した PC カードスロット以外の PC カードスロットには挿さないでください。
本製品を他の PC カードスロットで使用する場合は、再度次ページからの作業が必要です。

2 [I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMB]と表示されていることを確認し、[ソフトウェアを自動にインストールする]にチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



3 [続行]ボタンをクリックします。



4 [完了]ボタンをクリックします。

以上でインストールは終了です。
次に55ページ【無線LANからインターネット】へお進みください。

アンインストール
（インストールしたソフトの削除）

インストールしたドライバソフトやユーティリティソフトを削除します。

ドライバを削除する

注意！

本製品は取り付けたままにしておいてください。

●Windows XP/Me/98の場合 （Windows 2000の場合は114ページ）

（画面例はWindows XPのものです）

[デバイスマネージャ]画面上から以下の3つを順に削除します。

①[ネットワークアダプタ]に登録されている
[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]
②[モデム]に登録されているCFモデムカードのドライバ
③[多機能アダプタ]に登録されている[汎用多機能PCカード]※
※Windows Me/98の場合は[マルチファンクションアダプタ]に登録されている[IO DATA WNB11CMB-MF]

1 [デバイスマネージャ]を起動します。

Windows XPの場合

①[スタート]から[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows Me/98の場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックします。

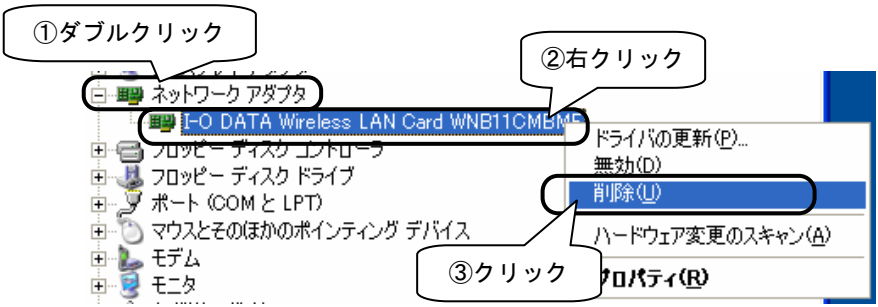
ドライバを削除する（つづき）

2 **［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］を削除します。**

①［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

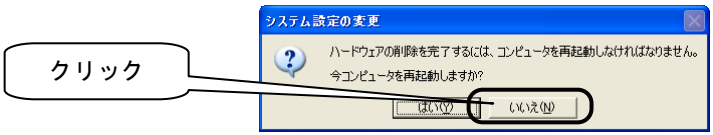
②［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］を右クリックします。

③表示された［削除］をクリックします。



3 **［OK］ボタンをクリックします。**

4 **再起動の画面が表示される場合は、［いいえ］ボタンをクリックします。**



ドライバを削除する（つづき）

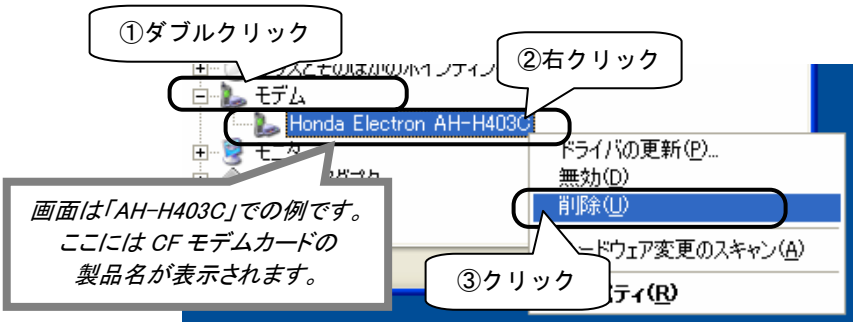
5 **同様の手順でCFモデムカードのドライバを削除します。**

①［モデム］をダブルクリックします。

②“CFモデムカードのドライバ”を右クリックします。

③表示された［削除］をクリックします。

後は画面の指示に従います。



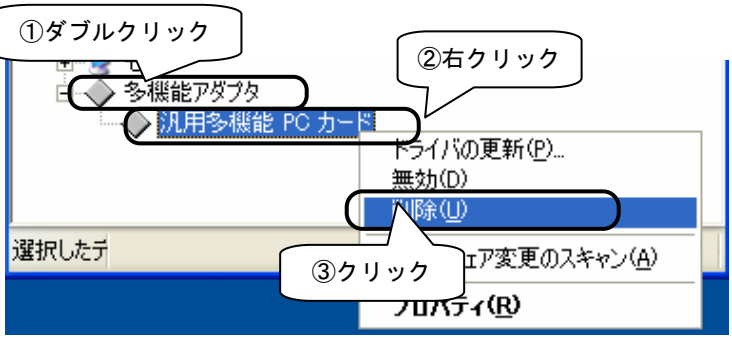
6 **同様の手順で［汎用多機能PCカード］を削除します。**
（Windows 2000/Me/98の場合は［IO DATA WNB11CMB-MF］を削除します。）

Windows XP の場合

①［多機能アダプタ］をダブルクリックします。

②［汎用多機能PCカード］を右クリックします。

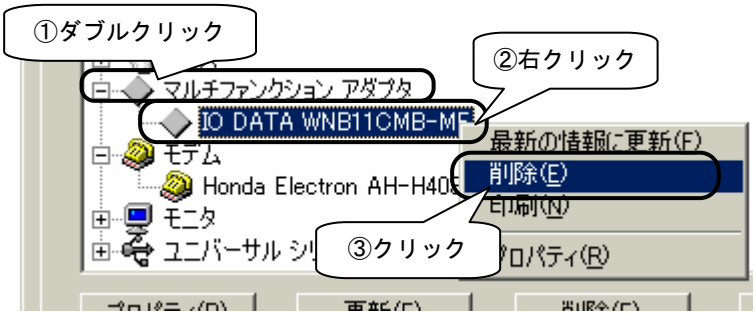
③表示された［削除］をクリックします。



ドライバを削除する（つづき）

Windows Me/98 の場合

①［マルチファンクションアダプタ］をダブルクリックします。
②［IO DATA WNB11CMB-MF］を右クリックします。
③表示された［削除］をクリックします。



この後、パソコンの電源を切らずに［ユーティリティを削除する］（119ページ）へお進みください。

ドライバを削除する（つづき）

●Windows 2000の場合

［ハードウェアの追加と削除］で以下の3つを順に削除します。

①[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]
②CFモデムカードのドライバ
③［多機能アダプタ］に登録されている［汎用多機能PCカード］

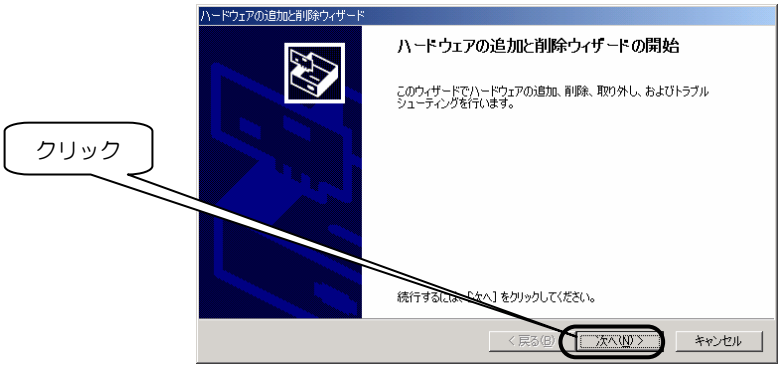
注意！

「Administrators 権限」でログオンしてください。

1 ［ハードウェアの追加と削除］を起動します。

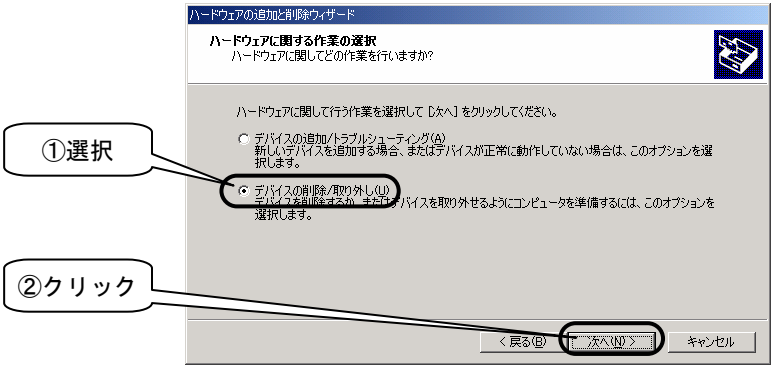
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を順にクリックし、［ハードウェアの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

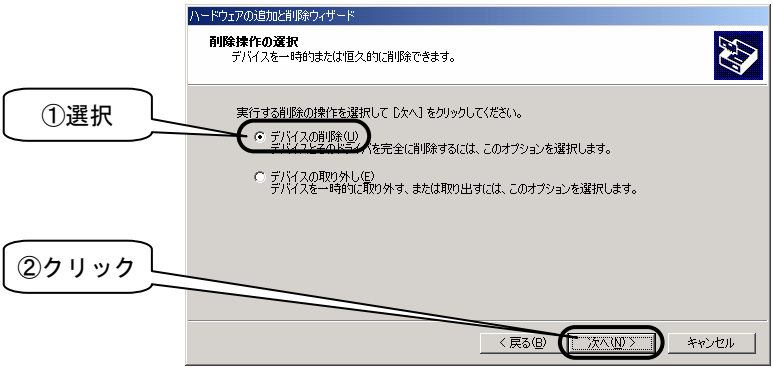


ドライバを削除する（つづき）

3 ［デバイスの削除/取り外し］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

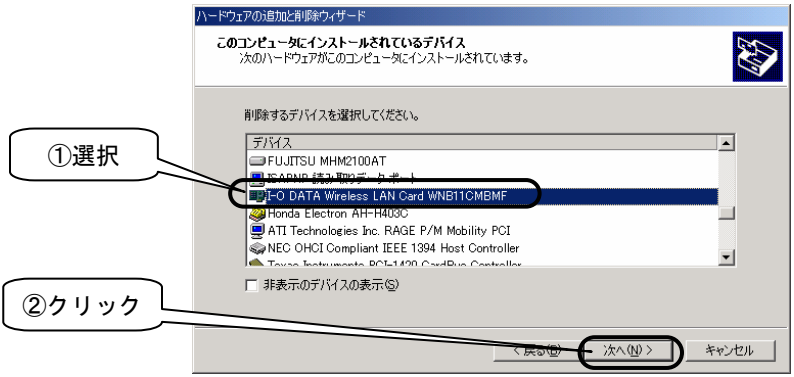


4 ［デバイスの削除］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



ドライバを削除する（つづき）

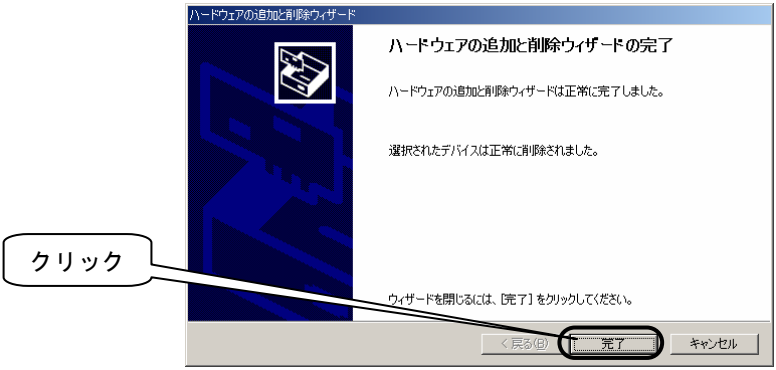
5 [I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



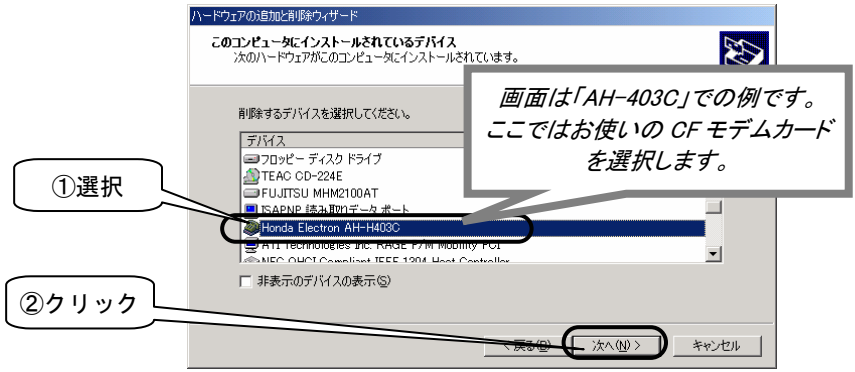
6 [はい、このデバイスを削除します]を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ドライバを削除する（つづき）

7 ［完了］ボタンをクリックします。



8 次にCFモデムカードのドライバを削除します。
114ページ *1*～ *7*の手順を行います。
この時、手順 *5*では、CFモデムカードを選択します。



ドライバを削除する（つづき）

9 最後に［IO DATA WNB11CMB-MF］を削除します。
114ページ *1*～*7*の手順を行います。
この時、手順 *5*では、［IO DATA WNB11CMB-MF］を選択します。

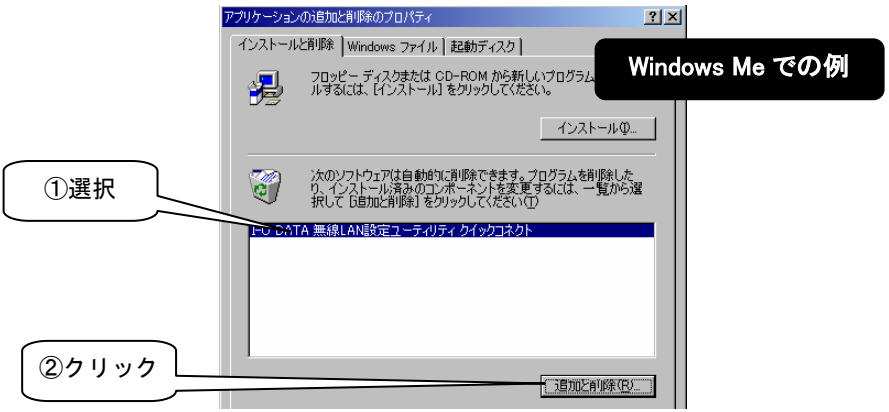
この後、<u>パソコンの電源を切らず</u>に[ユーティリティを削除する]（次ページ）へお進みください。

ユーティリティを削除する

インストールしたユーティリティを削除します。

1 [スタート]→（[設定]→）[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]（[プログラムの追加と削除]）を開きます。

2 ①[I-O DATA WNB11CMB 無線LAN設定ユーティリティ]を選択します。
②[変更と削除]（[変更/削除]や[追加と削除]）ボタンをクリックします。



後は画面の指示にしたがって削除してください。

Windows XPの場合は以上で終了です。
Windows 2000/Me/98の場合のみ、[エアーセレクターを削除する]（次ページ）へお進みください。

エアーセレクターを削除する

Windows 2000/Me/98では、インストールした「エアーセレクター」を削除します。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

2 ①[エアーセレクター]を選択します。
②[変更と削除]（[変更/削除]や[追加と削除]）ボタンをクリックします。

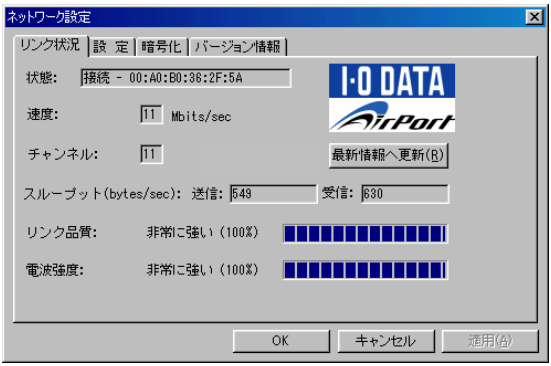
後は画面の指示にしたがって削除してください。

以上でアンインストールは完了です。

無線LANユーティリティの詳細
(Windows 2000/Me/98)

通信設定の表示 …[リンク状況]

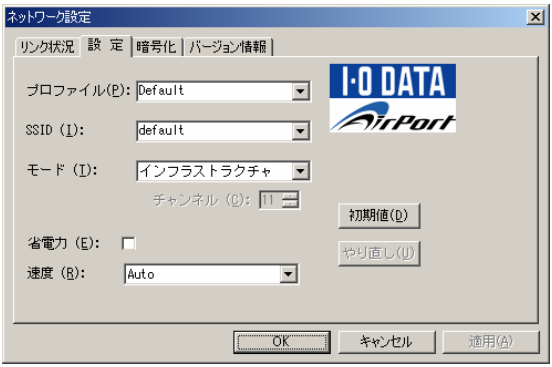
［リンク状況］タブでは、現在の通信状況を表示します。



項目	内容
状態	接続されている場合は、接続先のMACアドレスが表示されます。 （インフラストラクチャ時のみ）
速度	現在のリンク速度 (AUTO、11Mbps、5.5Mbps、AUTO 1or2Mbps)
チャンネル	現在のチャンネル(1～14ch)
スループット	転送速度（1秒間に何byte送信されているか）
リンク品質	接続されている無線LAN機器とのリンク品質 (表示されているバーが多いほど高品質の通信を行っています。 アドホックモードの場合は、非表示となります。)
電波強度	接続されている無線LAN機器との電波の強度 (表示されているバーが多いほど強い電波を受信しています。 アドホックモードの場合は、非表示となります。)
[最新の情報へ更新]ボタン	最新の情報を取得し、表示を更新します。

無線LANの設定 …[設定]

[設定]タブでは、無線LANの設定/登録を行うことができます。
登録されたプロファイル名が表示されます。

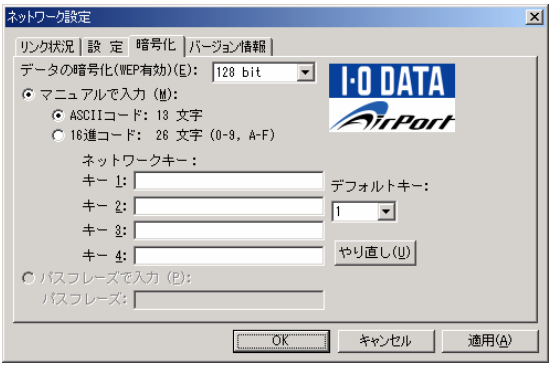


項目	内容
プロファイル	現在登録されているグループ名 *※半角60文字まで入力可(半角文字であれば使用文字制限なし)* *全角文字不可*
SSID	設定されているSSID *※半角英数字32文字まで入力可(使用文字制限なし)*
モード	設定されているモード (インフラストラクチャ、アドホック)
チャンネル	インフラストラクチャモード時 …設定されているチャンネル(1～14ch) アドホックモード時 …チャンネルを指定できます。
速度	リンク速度を指定できます。 (1Mbps、2Mbps、5.5Mbps、11Mbps、Auto)
省電力	チェックを付けると、省電力モードになります。
[初期値]ボタン	設定を初期値に戻します。
[やり直し]ボタン	設定を最初からやり直します。

暗号化の設定 …[暗号化]

[暗号化]タブでは、暗号化の設定ができます。

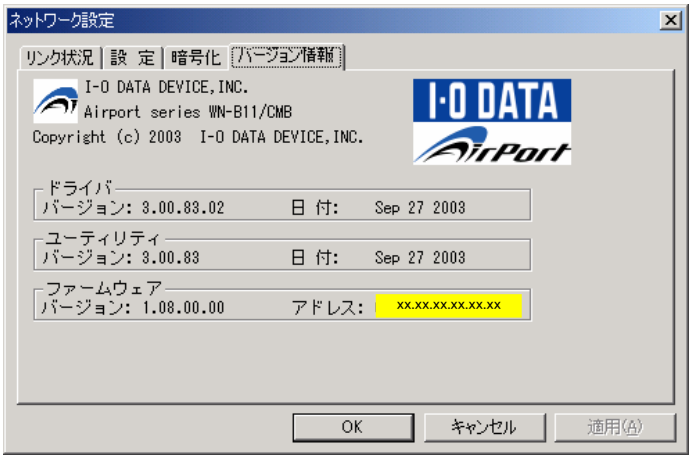
詳しくは、90、91ページをご覧ください。



項目	内容
データの暗号化(WEP有効)	暗号化するキーの長さを指定します。 以下から選択できます。 ・*[なし]*:暗号化はおこないません。 ・*[64bit]*:64bitでの暗号化を行います。 ・*[128bit]*:128bitでの暗号化を行います。
マニュアルで入力	・*ASCIIコード* ASCIIコードで暗号化キーを入力する場合にチェックします。 ・*16進コード* 16進コードで暗号化キーを入力する場合にチェックします。
ネットワークキー(キー1～4)	暗号化キーのコードを入力します。 16進数またはASCIIコードの設定範囲内で入力してください。
デフォルトキー	[キー1]～[キー4]のうち、接続先に合わせて、キーを選択します。
[やり直し]ボタン	設定をすべて初期値に戻します。
パスフレーズで入力	使用できません。

各ソフトウェアのバージョンについて …[バージョン]

[バージョン]タブでは、ドライバソフト・ユーティリティソフト・ファームウェアのバージョンを確認できます。



※表示されるバージョンは出荷時期により異なります。

用語解説

Ad hoc[アドホック]

アクセスポイントを介さずに、パソコン同士が直接通信しあう形態です。
他にインフラストラクチャモード(Infrastructure mode)があります。

DHCPサーバー(Dynamic Host Configuration Protocol Server)

DHCPとは各クライアントやEthernet機器へ起動時に動的にIPアドレスを割り当て、終了時にIPアドレスを回収するためのプロトコルです。
同時にゲートウェイアドレスやドメイン名、サブネットマスクその他の情報をネットワーク上のクライアントやEthernet機器へ通知することもできます。

この動的にIPアドレスの割当を行う側の機器がDHCPサーバーと呼ばれます。
ダイアルアップルータ等の機器もDHCPサーバーの機能を持っています。

DS-SS[直接拡散・スペクトラム拡散]

無線通信における変調方式の1つです。
干渉がおきにくい、ノイズの影響を受けにくい、などの特徴があります。

Ethernet[イーサネット]

米国ゼロックス社、ディジタル・イクイップメント社、インテル社によって開発されたネットワーク通信方式です。当初この方式は、基礎帯域伝達、CSMA/CDアクセス、論理バストポロジー、同軸ケーブルを使用して構成されていました。
後にIEEE802.3として規格化され、光ファイバー、広周波数帯域、ツイストペアで運用するリピータなどを使って拡張する追加機能が定義されました。

IEEE802.11

無線LANの国際的な標準規格です。
IEEE802.11bでは、通信速度が11Mbpsまで拡張されています。

Infrastructure［インフラストラクチャ］

アクセスポイントを介して通信する形態です。

MACアドレス（Media Access Control Address）

Ethernet機器ごとの固有の物理アドレスです。
MACアドレスは、先頭からの3バイトのベンダーコードと残り3バイトのユーザコードの6バイトで構成されています。
ベンダーコードはIEEEが管理／割当を行っており、ユーザコードは、Ethernet機器のメーカーが独自の番号（重複することのない）で管理を行い、世界中で単一のアドレスが割り当てられています。
Ethernetではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っています。

Mbps（Megabits per second）［メガビーピーエス］

1秒間に伝送するデータの単位です。
11Mbpsは1秒間に11メガビットのデータを伝送できます。

SSID（Service Set ID）［エスエスアイディー］

複数の無線ネットワークが存在する場合に、それらをグループ化するための識別子（ID）です。
SSIDが一致していないとそのネットワークには参加できません。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

主にインターネット上などで使用される基本プロトコルの1つです。

WEP（Wired Equivalent Privacy）

IEEE802.11bに含まれる標準の暗号化方式です。
各無線通信機器同士が共通の暗号鍵を使用して通信データを暗号化します。
暗号鍵を知らないパソコンは通信に参加することができません。

アクセスポイント

インフラストラクチャモード（Infrastructure mode）での通信の中継点となるポイントです。
他のパソコンでは、アクセスポイントと通信することで他のパソコンと通信します。
有線LANと無線LANの中継点ともなります。

チャンネル

無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができます。
チャンネルとは、その分割された個々の周波数帯域のことです。

ピアツーピア接続

サーバー／クライアントのような上下関係の無い対等な関係で行う通信のことです。

ローミング機能

複数のアクセスポイントを設置した環境で、各アクセスポイントのサービスエリア間を移動した場合に、自動的にアクセスポイントを切り替える機能です。
その場合、それぞれのアクセスポイントのSS IDとWEPが同じ設定である必要があります。

MEMO

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q＆A Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新サポートソフト

状態	参照ページ
本製品を取り付けてもLINKランプが消灯している	132
(Windows XP/2000) [デバイスマネージャ]の確認で、[汎用多機能PCカード]または[IO DATA WNB11CMB-MF]が表示されない	
(Windows Me/98) [デバイスマネージャ]の確認で、[IO DATA WNB11CMB-MF]が表示されない	
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]が表示されない	133
[デバイスマネージャ]の確認で、CFモデムカードが表示されない	
[デバイスマネージャ]の確認で、[汎用多機能PCカード](Windows Me/98の場合は[IO DATA WNB11CMB-MF])の頭に!マークが表示されている	134
[デバイスマネージャ]の確認で、[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]の頭に!マークが表示されている	138
[デバイスマネージャ]の確認で、CFモデムカードの頭に!マークが表示されている	
本製品が正常に動作しない	139
[ネットワーク(接続)]画面で、[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]が表示されない	140
[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)に、他のコンピュータ名が表示されない	
ユーティリティをインストールできない	141
(Windows XPのみ) [利用できるネットワーク]に確認したSSIDが表示されない	
(Windows Me/98のみ) インストール後の確認で、[ネットワークパスワードの入力]画面が表示されない	142
(Windows Me/98のみ) インストール後の確認で、デスクトップに、[マイネットワーク](ネットワークコンピュータ)アイコンが表示されない	

(Windows Me/98のみ) [ネットワーク]画面に、 [TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、 [TCP/IP－＞I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF] が表示されていない	143
(Windows Me/98のみ) [マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない	
CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない	146

トラブルの状態と対処

本製品を取り付けてもLINKランプが消灯している

原因1	本製品を取り付けているスロットが不安定である。
対処	別のスロットに取り付けてみてください。
原因2	パソコンのパワーマネジメント機能がONになっている。
対処	本製品を取り出してから、パワーマネジメント機能をOFFにします。 再度、本製品を取り付けてください。

(Windows XP/2000)［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］または[IO DATA WNB11CMB-MF]が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	本製品を差し込んでいない状態では表示されません。本製品がPCカードスロットに差し込まれていることを確認してください。 タスクトレイ(画面右下)にPCカードアイコンがなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。 タスクトレイにPCカードアイコンがあれば、106ページを参照し、本製品を取り出し、再度取り付けてください。

(Windows Me/98)［デバイスマネージャ］の確認で、［IO DATA WNB11CMB-MF］が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	上記【[デバイスマネージャ]の確認で、[汎用多機能PCカード]…】の対処を参照してください。

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］が表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	前ページ【［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］…】の対処を参照してください。

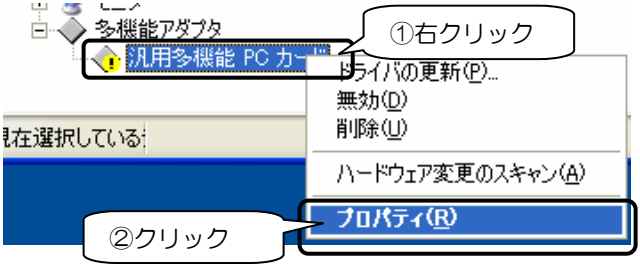
［デバイスマネージャ］の確認で、CFモデムカードが表示されない

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	前ページ【［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］…】の対処を参照してください。

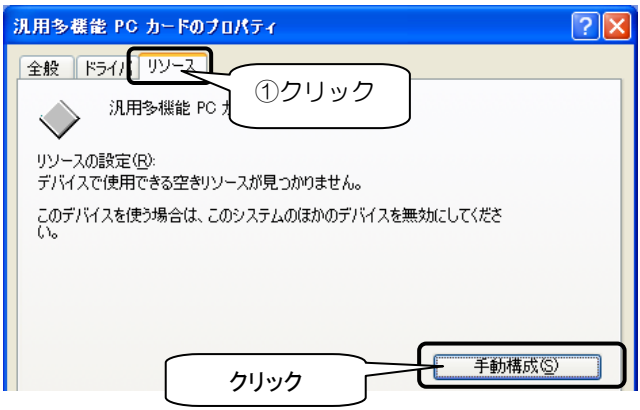
［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］（Windows 2000/Me/98の場合は［IO DATA WNB11CMB-MF］）の頭に、！マークがついている

原因1	パソコンを再起動していない。
対処	本製品をPCカードスロットに挿入したまま、パソコンを再起動します。 再起動後、【ここまでの確認】(48ページ)の手順で再度確認してみてください。
原因2	リソースが競合している。
対処	下記の手順を行ってみてください。 *※以下の手順・画面は、Windows XPを例にしています。他のOSの場合は以下の手順を参考にしてください。*

1 ！マークが表示されている［汎用多機能PCカード］（Windows Me/98の場合は［IO DATA WNB11CMB-MF］）を右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。



2 ［リソース］タブをクリックします。
以下の画面が表示された場合は、［手動構成］ボタンをクリックします。

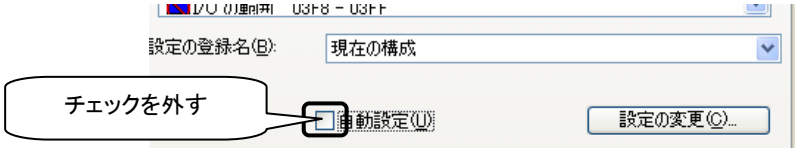


3 ［リソース］タブで、［リソースの設定］欄に？がある設定、あるいは［競合するデバイス］欄内に表示されている競合しているリソース（［割り込み要求］［I/Oの範囲］）がないかを確認します。
このリソースの変更や競合する製品側でのリソースの変更を行います。次ページ以降の方法で変更してみてください。

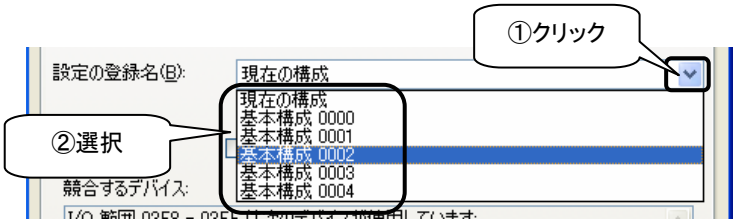
リソースの変更 方法1 本製品側でリソースの変更を行う方法

ご使用のパソコンによっては、変更できない場合があります。
その場合は、以下の方法をお試しください。

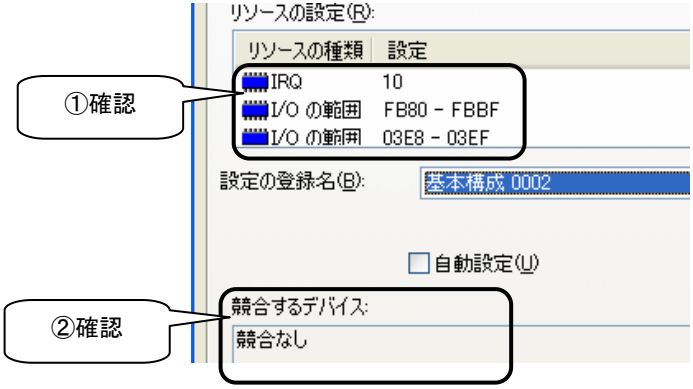
1 [自動設定](Windows 98の場合は、[自動設定を使う])のチェックを外します。
②[現在の登録名]から、?や競合しているリソースがなくなる([競合なし]となる設定)を[基本構成xxx]から選択します。



2 [現在の登録名]から、?や競合しているリソースがなくなる([競合なし]となる設定)を[基本構成xxx]から選択します。



3 [リソースの設定]に?などがないこと、[競合するデバイス]に[競合なし]と表示されていることを確認できれば設定終了です。



リソースの変更 方法2

本製品と競合している製品側で
リソースの変更を行う方法

1 ［デバイスマネージャ］画面で、競合している製品を探します。（詳細は、その製品の取扱説明書やメーカーにご確認ください。）

2 後は、前ページの手順 *1*～*3*を参考に、その製品のリソースの変更ができないか、おためしください。

リソースの変更 方法3

パソコン本体に
空きのリソースを作成する方法

1 既存のデバイスの内、使用していないものを無効にしたり、
取り外したりして、必要なリソースの空きを作ってください。
方法については、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

2 空きを作成後、！マークが消えていないか確認してみてください。

参考

《パソコンで使用しているリソースの確認方法》

1.[マイコンピュータ]を右クリックし、メニューから[プロパティ]をクリックします。
2.[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[コンピュータ]を選択します。
3.[プロパティ]ボタンをクリックして、リソースの空きが確認できます。
（詳しくはパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。）

［デバイスマネージャ］の確認で、［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］の頭に！マークが表示されている

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	134ページ【［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］…】の対処を参照してください。

［デバイスマネージャ］の確認で、CFモデムカードの頭に！マークが表示されている

原因	本製品を取り付けていない、または、正しく取り付けていない。
対処	134ページ【［デバイスマネージャ］の確認で、［汎用多機能PCカード］…】の対処を参照してください。

本製品が正常に動作しない

原因1	PCカードスロットが5Vのみ対応のPCカードスロットである。(非CardBus)
対処	PCカードスロットでお使いになる場合は、本製品はCardBus PCカードスロットのみ対応です。CardBus PCカードスロットでお使いください。
原因2	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ(画面右下)にPCカードアイコン(またはハードウェアの取り外しアイコン)がなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン(またはハードウェアの取り外しアイコン)があれば、106ページを参照して、本製品を取り出し、もう1度、取り付けてください。正しく通信できていれば、本製品のLINKランプが緑色に点灯します。
原因3	間違ったドライバがすでにインストールされている、または、インストール時に[スキップ]ボタンや[キャンセル]ボタンなどをクリックして中断したためにドライバが正常にインストールされていない。
対処	[デバイスマネージャ]の一覧に[?その他のデバイス]が無いかご確認ください。 [?その他のデバイス]がある場合で、さらにその下に、[I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]が無いかご確認ください。 ある場合は、[イーサネットコントローラ]をクリックし、[削除]ボタンで削除後、パソコンを再起動してください。 (Windows XPおよびWidows 2000の場合は、[イーサネットコントローラ]を右クリックし、メニュー内の[削除]をクリックして削除後、パソコンを再起動してください。) 再起動後、【①ユーティリティをインストールする】(18ページ)を参照して、再度インストールしてください。
対処	[デバイスマネージャ]一覧→[ネットワークアダプタ]の[イーサネットコントローラ]の頭に!マークがないかご確認ください。 ある場合は、134ページの【[デバイスマネージャ]の確認で、……の頭に、!マークがついている】での[対処]をご覧ください。

［ネットワーク（接続）］画面で、［I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF］が表示されない

対処	前ページ【本製品が正常に動作しない】をご覧ください。

［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）に、他のコンピュータ名が表示されない

原因1	本製品を正しく取り付けていない。
対処	タスクトレイ（画面右下）にPCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）がなければ、本製品をそのまま取り出して、もう一度取り付けてください。PCカードアイコン（またはハードウェアの取り外しアイコン）があれば、106ページを参照して、カードを取り出し、もう1度、取り付けてください。正しく通信できていれば、本製品のLINKランプが緑色に点灯します。
原因2	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先と同じSS IDを設定していない。
対処	通信先と同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。
原因3	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンの通信チャンネルの値を同一にしていない。
対処	アクセスポイントが無い場合は、通信先と同じ通信チャンネルにする必要があります。通信チャンネルを同じ値にしてください。
原因4	《アクセスポイントを使用していない場合》 通信先のパソコンと同じワークグループ名が指定されていない。
対処	ネットワーク上のすべてのパソコンに対し、同じワークグループ名を指定してください。
原因5	《アクセスポイントを使用している場合》 アクセスポイントと同じSS IDを設定していない。
対処	アクセスポイントと通信する場合は、アクセスポイントと同じSS IDにする必要があります。SS IDを同じ値にしてください。

原因6	IPアドレスの設定が間違っている。
対処	正しく設定してください。
原因7	無線状態が悪く、電波が届かない。
対処	無線間の距離を短くしたり、障害物を取り除いたり、通信チャンネルを変更してから、再度試してみてください。
原因8	ファイヤウォール等のアプリケーションが妨げている。
対処	ファイヤウォール等のアプリケーションがファイル共有を妨げていないか確認し、妨げている場合は、ファイル共有できるようにアプリケーションで設定してください。

ユーティリティをインストールできない（以下のようなエラーとなる）

「InstallShieldエンジン(iKernel.exe)をインストールできませんでした。
システムは、指定されたデバイスからは読み取れません。」

原因	パソコンに常駐しているアプリケーションが、InstallShieldの動作の妨げになっている。
対処	設定ユーティリティをインストールする場合のみ、常駐しているアプリケーションを常駐解除してください。 アプリケーションの常駐解除方法は、各アプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。(「設定ユーティリティ」のインストール時のみのもので、インストール後は、常駐してもかまいません。)

（Windows XPのみ）[利用できるネットワーク]に確認したSSIDが表示されない

原因	お使いのアクセスポイントがSSIDを通知しないタイプのものである。
対処	①[優先するネットワーク]内の、[追加]ボタンをクリックします。 ②[ネットワーク名（SSID）]に、お使いのアクセスポイントのSSIDを入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

（Windows Me/98のみ）インストール後の確認で、［ネットワークパスワードの入力］画面が表示されない

原因	ドライバが正常にインストールされていない。
対処	【Windows Me/98での確認】(51ページ)で、インストールが正常かを確認してください。

（Windows Me/98のみ）インストール後の確認で、デスクトップに、［マイネットワーク］（ネットワークコンピュータ）アイコンが表示されない

原因	ネットワークの設定で[Microsoftネットワーククライアント]が登録されていない。
対処	[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[ネットワーク]を開き、[Microsoftネットワーククライアント]が登録されているか確認してください。 無い場合は、[追加]ボタンで追加してください。 また、[優先的にログインする]が[Microsoftネットワーククライアント]になっていることも確認してください。

(Windows Me/98のみ)
[ネットワーク] 画面に、[TCP/IP－＞xxxxxxxx]は複数表示されているのに、[TCP/IP－＞I-O DATA Wireless LAN Card WNB11CMBMF]が表示されていない

原因	登録されているLANアダプタの数が多い。 (登録できるLANアダプタの数には、制限があります。)
対処	[ネットワーク]画面で、必要の無い、あるいは使用していないLANアダプタをクリックして、[削除]ボタンで削除してください。 **●必要の無いLANアダプタの例** ・以前使用していたが、現在使用していないLANアダプタ ・赤外線通信を行わない場合の「赤外線通信アダプタ」 ※赤外線通信アダプタの名称は、パソコン本体により異なります。 また、パソコン本体のBIOSの設定が必要となる場合がありますので、詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。 ・インターネット・プロバイダに「AOL」を使用していない場合の「AOL Adapter」および「AOL Dialup Adapter」

(Windows Me/98のみ)
[マイネットワーク]または[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックしてもワークグループ名アイコンや他のパソコンが表示されない。

原因	Windowsのネットワーク機能が正常に動作していない。
対処	次ページの【ネットワーク機能を確認する】を参照してください。

・ネットワーク機能を確認する

正常に組み込まれなかったネットワークに関するものを以下の順番で削除を行ってください。

1 ［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開きます。

2 ［ネットワーク］画面に表示される内容を次ページの種類順に削除してください。

注意！

削除する順番が異なると、ネットワークがうまく構成し直せなくなる場合がありますので、必ず下記の順で削除してください。

＜削除する順番＞

1）サービスをすべて削除します。

［Microsoft ネットワーク共有サービス］など［xxxx 共有サービス］という名称のものが該当します。

サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

2）クライアントをすべて削除します。

［Microsoft ネットワーククライアント］、［Microsoft ファミリログオン］など［xxxxクライアント］という名称のものが該当します。

［コントロールパネル］→［ネットワーク］を開いて、クライアントをすべて削除します。サービスの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3）プロトコルをすべて削除します。

［TCP/IP（TCP/IP->xxxx）］、［NetBEUI（NetBEUI->xxxx）］、［IPX/SPX（IPX/SPX->xxxx）という名称のものが該当します。

プロトコルの削除後は、［ネットワーク］画面で［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。その後に、Windowsの再起動を要求されますので、再起動を行ってください。

3 [コントロールパネル]→[ネットワーク]を開くと、アダプタ関連が残ります。その状態になりましたら、お客様が接続するネットワーク環境に必要なものを以下の順に追加を行います。

＜追加する順番＞

1) クライアントとプロトコルを追加します。

*※*クライアントを追加しますと、プロトコルも一緒に追加されます。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [クライアント]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[クライアント]で必要なプロトコルの名称([Microsoft ネットワーククライアント]など)をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ クライアントとプロトコルが追加されたことを確認します。

2) サービスを追加します。

追加する方法は、以下の通りです。

① [追加]ボタンをクリックします。
② [サービス]をクリック後、[追加]ボタンをクリックします。
③ [製造元]で[Microsoft]を選択し、[サービス]で必要なサービスの名称([Microsoft ネットワーク共有サービス]など)をクリックし選択します。
④ [OK]ボタンをクリックします。
⑤ サービスが追加されたことを確認します。

4 [優先的にログオンする]は、上記にて追加し直したクライアントを選択してください。

5 以上の設定を行って再起動した際、ネットワークへのログオン画面が表示されると思います。ここでは、キャンセルせずに必ず[OK]ボタンをクリックしてください。(パスワードは未入力でも可)

CD-ROMドライブがない、または、PCカード接続のCD-ROMドライブを使っているので、インストールできない

対処	下記の手順にしたがってください。

PCカード接続でCD-ROMドライブをお使いの場合

パソコンにPCカードスロットが1つのみで、かつPCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合、インストール時にCD-ROMドライブが使えません。
以下の方法で「サポートソフト」の内容をハードディスクにコピーしておいてください。

1 パソコンにCD-ROMドライブを接続し、パソコンの電源を入れます。

2 ①エクスプローラを起動します。

・Windows XPの場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→［アクセサリ］→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows 2000の場合

[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

・Windows Me/98の場合

[スタート]→[プログラム]→[エクスプローラ]を順にクリックします。

②[すべてのファイルを表示する]に設定します。

1. ［ツール］メニューの［フォルダ オプション］を選びます。
2. ［表示］タブに移動し、［すべてのファイルとフォルダを表示する］をチェックします。（Windows XPの場合は、［表示］タブの［詳細設定］欄にあります。）
3. ［OK］ボタンをクリックします。

参考

[ツール]メニューの[フォルダ オプション]が無い場合、以下の手順で設定します。
①[表示]メニューの[フォルダ オプション]を選びます。
②[表示]タブの[すべてのファイルを表示する]をチェックします。
③[OK]ボタンをクリックします。

3 CD-ROMドライブに「サポートソフト」ディスクをセットします。

4 ハードディスクドライブ（Windowsなどがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成します。

5 「サポートソフト」ディスクの内容をすべて手順**4** で作成したフォルダにコピーします。

インストールの手順内では、手順**4**で作成したフォルダを指定してください。

CD-ROMドライブがない場合

パソコンにCD-ROMドライブが無い場合は、以下を行ってください。

1 インターネット上の弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/lib/）より、本製品添付のサポートソフトのファイルを入手します。

2 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを作成し、入手したファイルをそのフォルダで展開してください。

インストールの手順内では、ここで作成したフォルダを指定してください。

仕様

商品名	IEEE802.11b 無線LAN PCカード
製品型番	WN-B11/CMB
ホストインターフェイス	PC Card Standard CardBus対応（3.3Vインターフェイス）
使用電源	DC3.3V±5%
消費電力	1.5W（MAX）
使用温度範囲	0℃～+40℃
使用湿度範囲	10%～80%（結露しないこと）
外形寸法	54(W)× 107(D)× 14(H) mm （突起部含む）
質量	約38g

●無線LANインターフェイス

規格	国際規格：IEEE802.11, IEEE802.11b 国内規格：ARIB STD-33, ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4GHz帯
チャンネル	1ch～14ch
伝送方式	直接拡散・スペクトラム拡散方式(DS-SS)
伝送速度	1Mbps, 2Mbps, 5.5Mbps, 11Mbps
変調方式	1Mbps ：DBPSK 2Mbps ：DQPSK 5.5Mbps,11Mbps：CCK
無線設備の種別	小電力データ通信システム
データ到達距離 （最大）	屋内：約60m、屋外：約150m ※これらの値は、弊社アクセスポイント（WN-B11/AXPH）との最大データ到達距離を計測したものです。 （環境条件により変化します。）
セキュリティ方式	WEP（Wired Equivalent Privacy）[64/128bit]， SSID（Service Set ID） ※SSIDはアクセスポイント使用時
アクセス方式	アドホック（Ad hoc） インフラストラクチャ（Infrastructure） ※インフラストラクチャはアクセスポイント使用時
LED表示	POWER/LINKランプ

●無線LANインターフェイス

インターフェイス仕様	CF Specification Revision 1.4対応
供給電圧	3.3V

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

・CFモデムカードに関するお問い合わせ

弊社では、本製品の機能（無線LAN）についてのみ、サポート対象としています。
本製品を使用した場合、通常のPCカードアダプタを使用した場合、いずれもCFモデムカードとしての動作は同じです。
同時にご利用になるCFモデムカード(AirH ″など)について、および、その設定（ダイヤルアップ接続など）については、各CFモデムカードメーカー、各インターネットプロバイダにお問い合わせください。

・無線LANに関するお問い合わせ

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話： 本社…**076-260-3644** 東京…**03-3254-1144**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

同時にご利用いただいているCFモデムカード(AirH ″など)の修理については、各CFモデムカードメーカーにお問い合わせください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows	Windows XP,Windows 2000,Windows Me,Windows 98の総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

WN-B11/CMB 取扱説明書　2003.12.5
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。